

2026 年度
一般社団法人神奈川県作業療法士会
第 13 回 定時社員総会
議案書

期日：2026 年 5 月 10 日（日）

13 時 30 分～16 時 00 分（受付時間 13 時 15 分～）

会場：神奈川県立かながわ労働プラザ

住所：神奈川県横浜市中区寿町 1-4

電話：045-633-5413



一般社団法人 神奈川県作業療法士会
事務所

〒231-0011 横浜市中区太田町 4-45 第一国際ビル 301

Tel&Fax：045-663-5997 <https://kana-ot.jp/>

E-mail:jimu@kana-ot.jp

（JR 根岸線関内駅より徒歩 10 分）

目 次

総会次第	2
一般社団法人神奈川県作業療法士会 2026・2027 年度社員一覧	3
一般社団法人神奈川県作業療法士会 2023～2026 年度中・長期計画	4
決議事項	
第 1 号議案 2025 年度（令和 7 年度）事業報告	6
第 2 号議案 2025 年度（令和 7 年度）決算報告ならびに監査報告	26
第 3 号議案 規程の修正について	33
第 4 号議案 代議員選挙結果について	35
報告事項	
第 1 号議案 2026 年度（令和 8 年度）事業計画	36
第 2 号議案 2026 年度（令和 8 年度）予算	45
資 料	
・ 2025 年度（令和 7 年度）後援・協賛等一覧	49
・ 2025 年度（令和 7 年度）賛助会員一覧	50
・ 2025 年度（令和 7 年度）名誉会員一覧	50
・ 2025 年度（令和 7 年度）他組織・団体等の県士会代表委員名簿	50
・ 一般社団法人日本作業療法士会 特別表彰者一覧	50
・ 第 9 期（2025・2026/令和 7・8 年度）理事・監事名簿	51
・ 第 9 期（2025・2026/令和 7・8 年度）各部・委員名簿	52
・ 一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2025 年度/令和 7 年度版)	54

2026 度（令和 8 年度）一般社団法人神奈川県作業療法士会

第 13 回 定時社員総会 総会次第

1. 代議員選挙報告
2. 開会のことば
3. 議長団選出（議長）
4. 総会役員選出（書記、議事運営委員、議事録署名人）
5. 会長挨拶
6. 議事運営委員報告
7. 総会成立宣言
8. 決議事項
 - 第 1 号議案 2025 年度（令和 7 年度）事業報告
 - 第 2 号議案 2025 年度（令和 7 年度）決算報告ならびに監査報告
 - 第 3 号議案 規程の修正について
 - 第 4 号議案 代議員選挙結果について
9. 報告事項
 - 第 1 号議案 2026 年度（令和 8 年度）事業計画
 - 第 2 号議案 2026 年度（令和 8 年度）予算
10. 議長団の解任
11. 閉会のことば

一般社団法人神奈川県作業療法士会

2026・2027年度（令和8・9年度）社員一覧

定 数：76名

定数算定日：2025（令和7年）年10月1日

登録社員数：76名

【内訳】Aブロック（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）：45名

Bブロック（県域：政令指定都市を除く地域に勤務している正会員）：31名

*所属は2026(令和8年)3月31日現在

【Aブロック45名（横浜市・川崎市・相模原市に勤務している正会員）（届出順・敬称略）】

No.	氏名	所属	No.	氏名	所属
1	清水 謙太	Luxem訪問看護リハビリステーション川崎宮前	24	山中 竜太	イムス横浜狩場脳神経外科病院
2	野本 義則	自宅会員	25	福留 大輔	横浜旭中央総合病院
3	増田 雄亮	湘南医療大学	26	金原 衣理子	イムス横浜旭リハビリテーション病院
4	佐藤 隼	さがみリハビリテーション病院	27	牧山 大輔	自宅会員
5	猿爪 優輝	北里大学病院	28	柳橋 宏亮	江田記念病院
6	中井 琢哉	北里大学病院	29	岡本 絵里加	湘南医療大学
7	佐々木 秀一	北里大学病院	30	戸塚 香代子	川崎市中央療育センター
8	黒崎 空	北里大学病院	31	早川 大貴	ふれあい鶴見ホスピタル
9	宮崎 道輝	北里大学病院	32	石川 恵美子	青葉さわい病院
10	神保 洋平	湘南医療大学	33	田原 真悟	戸塚共立いずみ野病院
11	宮内 貴之	湘南医療大学	34	内山 博之	横浜リハビリテーション専門学校
12	井本 裕堂	横浜総合病院	35	三瓶 一輝	介護老人保健施設 牧野ケアセンター
13	玖島 弘規	相原病院	36	中西 理佐子	横浜南共済病院
14	水野 友和	江田記念病院	37	金山 桂	カーサプラチナ三ツ境
15	吉武 信治	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	38	西浦 淳一郎	横浜病院
16	宇都宮 裕人	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	39	濱口 陽介	川崎市中部リハビリテーションセンター 中部在宅支援室
17	渡嘉敷 淳	イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院	40	平井 翔也	イムス横浜旭リハビリテーション病院
18	宮田 和典	横浜なみきりリハビリテーション病院	41	西川 航平	介護老人保健施設こもれび
19	渡瀬 広之	横浜なみきりリハビリテーション病院	42	中里 和也	ワン・ライフ訪問看護ステーション
20	石井 将文	東戸塚記念病院	43	作田 浩行	昭和医科大学
21	榎本 光彦	東戸塚記念病院	44	古賀 誠	昭和医科大学
22	加藤 秀隆	江田記念病院	45	佐野 邦典	横浜市立大学付属市民総合医療センター
23	中西 みなみ	イムス横浜狩場脳神経外科病院			

【Bブロック31名（県域：政令指定都市を除く地域に勤務している正会員）（届出順・敬称略）】

No.	氏名	所属	No.	氏名	所属
1	佐藤 慶一	横須賀市立総合医療センター	17	山本 潤	国際医療福祉大学
2	重田 優子	ふれあい平塚ホスピタル	18	高杉 雄太	介護老人保健施設ニューライフ湯河原
3	飯尾 龍士	ふれあい平塚ホスピタル	19	渋江 拓郎	えびな脳神経クリニック
4	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学	20	吉本 雅一	湘南鎌倉総合病院
5	藤本 一博	茅ヶ崎中央病院	21	塚田 菜穂	湘南鎌倉総合病院
6	金子 康	湘南わかば苑	22	高橋 若奈	湘南鎌倉総合病院
7	吉田 祐太	介護老人保健施設 めぐみの里	23	森山 康平	鶴巻温泉病院
8	小泉 雅哉	鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院	24	高須 慎太郎	湘南中央病院
9	梶ヶ谷 聡	衣笠病院	25	初鹿 真樹	有限会社足柄リハビリテーションサービス
10	澤口 勇	訪問看護ステーション レンゲの花	26	甲本 夏穂	国際医療福祉大学
11	神田 崇央	湘南大磯病院	27	齊田 浩彰	湘南鎌倉総合病院
12	廣瀬 卓哉	湘南慶育病院	28	高坂 岳	ふれあい平塚ホスピタル
13	中山 淳	社会福祉法人 小田原福祉会	29	小河原 格也	神奈川県立保健福祉大学
14	塩澤 崇夫	北小田原病院	30	横山 素	ノンフラット合同会社リハワーク藤沢
15	田中 秀和	北小田原病院	31	松橋 兼吾	ふれあい平塚ホスピタル
16	島田 浩輝	横須賀市立総合医療センター			

(一社) 神奈川県作業療法士会 中・長期計画 2025 年度

一般社団法人神奈川県作業療法士会 4 か年計画

後期 (2025-2026)

スローガン:

成長する県士会と共に

『会員一人ひとりが質の高い作業療法を実践し成長しよう』

行動計画:

会員がより質の高い作業療法を実践できるよう支援する。

OT 学術技能研鑽、資質向上に努める。OT 協会と連携し作業療法の普及発展を図る。神奈川県民の保健・医療・福祉の向上に寄与する。組織運営の円滑・効率化のために組織改編を実行する。県内にむけ作業療法の実践と啓発、OT の育成教育。組織力向上を図る。

2022 年度より、当会が掲げた「成長する県士会」をキーワードに、会員がより質の高い作業療法の実践を支援する行動計画を立て遂行してきた。前期の 2 年間(2023-2024 年度)では、作業療法の普及発展を図ることを目的に、神奈川県民の保健、医療、福祉、教育の向上に寄与することを心掛け公益的な活動を積極的に実行した。また、神奈川県庁(中央行政)や地方自治体への訪問をはじめ、県内の医療専門職団体との意見交換を重ねてきた。後期の 2 年間(2025-2026 年度)も引き続き、作業療法士の役割や作業療法の理解を求める活動を可能な限り実行しているところである。

2025 年度は、対外的に多くの場面で作業療法の理解を深める取り組みを実行した 1 年であった。神奈川県作業療法士会が、会員とともに将来にあるべく姿として、一人ひとりが質の高い作業療法が実践できるように、医療モデルだけでなく、生活モデルとしてもニーズを詳細に掘り下げ、社会的にも作業療法士の手による地域への土壌開拓が様々に求められている。これらは、作業療法士の個々の成長だけでなく、職能団体としての成長も必要であり、職能団体としての強い対応力と組織力を養う原動力が要求される。具体的な活動を実践していくためにも、神奈川県庁内の健康医療局や福祉こども未来局をはじめ、各所属部門とは非常に風通しの良い関係性を築けてきたと感じているところである。

当会は 2025 年度から新たな組織に改編した。2025 年度はその移行期として、法人管理運営部門と公益管理事業部門を機能的に運営できるよう、現在も努めて検討を重ねているところである。従前よりも少しずつ事務局機能が効率的になりつつあり、士会活動も組織横断的に互いに協力と連携が図りやすくなってきている。昨今は組織内および対外的に交わされる情報量が年々増加している傾向にあるため、的確な情報収集および情報交換ができるよう、情報の集約機能を高める工夫が図れるよう議論を重ねてきた。2026 年度には、さらに機能的な運営ができるよう検討と工夫を重ねていくことになる。

また、当会の「成長」には、欠くことのできない OT 協会との連携や、近隣の士会とも協力し合える関係性もまた更に強化されてきた。2026 年度の診療報酬改定に関しては、OT 協会

執行部の努力も多大に功績を残した。当会も国政に声を上げる政治家たちとの対話を設け、作業療法士の役割や理解を説き、後進育成の課題、賃上げ、処遇改善等、様々に意見を交わしてきた。2026年4月1日から施行予定である高次脳機能障害支援法は、作業療法士が人々の暮らしに少しずつ寄り添うことが実現できる活躍の場が創出された結果の一つでもある。これからの作業療法士としての将来の活動基盤となる「成長」の一つになるものと期待したい。

2026年度は、組織力の強化をさらに促進することを念頭に、組織率を高めていく努力を会員の皆様とともに取り組んでいきたい。12月には第7回神奈川県臨床作業療法大会を予定している。是非多くの会員たちに参加して頂きたい。当会会員の一人ひとりが作業療法の質と意識を高められるよう、実りある作業療法の実践と成長の支援を引き続き推進していく。

下期も引き続き以下の目標を掲げる。詳細は各部署からの事業計画を参照して頂きたい。

行動計画 2023～2026年度	目標
学術・教育活動の 推進と支援	指定規則改定に伴う臨床実習指導者養成に向けた講習会開催や卒後教育の生涯教育推進と支援。スキルアップ研修会、研究活動推進、OTとしての専門性向上と倫理教育の充実。地域リハビリテーション教育による地域活動協力体制構築。県学会や臨床大会による成果発表の機会作り。
公益活動への取り 組み拡大・支援	県内二次医療圏における作業療法活動支援体制の基礎を構築。会員データベース（人材バンク等）の構築。行政機関や他団体との連携協業。医療・保健・福祉の向上に繋がる企画開催。養成教育機関との連携をもち未来のOT育成を考える。
県内エリア化の仕 組みを具体化	会員の専門性、特性、ホープとニーズの把握。組織率の向上に繋げる。県内8つのエリアを軸に公益活動や地域リハビリテーション事業への参画を促す仕組みを構築。各エリアが協働しやすい基礎の構築を目指す。
法人管理体制の適 正化と効率化	事務局機能体制の強化。財務システムの効率化。会員データ管理の再構築を実行。将来的な会員管理と人材バンクの設立に向ける。公益活動窓口機能を強化。倫理機能の強化。定款や規程の整理と適正化。

〈決議事項〉

第1号議案 2025年度（令和7年度）事業報告

部署名：事務局	担当：事務局長 望月 強併 次長 玖島 弘規
1. 総会の運営	
(1) 第12回社員総会 2025年5月11日（日）10:00～11:30 会場：神奈川県横浜市中区寿町1-4 神奈川県立かながわ労働プラザ 2025年5月11日現在の代議員総数 76名 出席代議員数23名、議決権行使書12通、委任状数27通、議決権の総数62名 第1～6号議案を成立	
2. 三役会・理事会の開催及び運営：三役会11回、理事会8回 計19回	
(1) 三役会 第1回 2025年6月3日（火） 第2回 2025年7月8日（火） 第3回 2025年8月5日（火） 第4回 2025年9月9日（木） 第5回 2025年10月7日（火） 第6回 2025年11月4日（火） 第7回 2025年12月2日（火） 第8回 2026年1月6日（火） 第9回 2025年2月3日（火） 第10回 2026年3月3日（火） 第11回 2025年4月7日（火）	
(2) 理事会 第1回 2025年6月12日（木） 第2回 2025年7月25日（金） 第3回 2025年9月27日（土） 第4回 2024年11月13日（木） 第5回 2025年12月12日（金） 第6回 2025年2月13日（金） 第7回 2026年3月12日（木） 第8回 2026年4月16日（木）	
3. 会員に対する業務・会員の管理に関すること	
(1) 2025年度入会者：正会員134名 賛助会員A 0名 賛助会員B 0社 賛助会員C 0名 2025年度正会員総数：2232名	
(2) 問い合わせ・郵便物対応 会員からの問い合わせ：210件（メール） 引き落とし口座、会員履歴証明証、領収証、その他について問い合わせ 非会員からの問い合わせ：16件（メール） 郵便收受：795通	
(3) 会員増への取り組み 関東圏養成校へ県士会ニュース・学術誌配布し広報を実施 入会・退会・変更等の窓口の整理とホームページの更新	

(4) 入会・退会・変更会員情報の管理と手続き

(5) 日本作業療法士協会との会員情報の連携

4. 関連団体に対する窓口業務

(1) 介護認定審査会や自立支援法等に関する窓口

県内7市町村（横浜市、川崎市、相模原市、厚木市、小田原市、平塚市、湯河原市）より依頼あり

(2) 地域ケア会議への参加に関する窓口

県内3市町村（逗子市、藤沢市、横須賀市）

(3) 日本作業療法士協会

情報周知ならびに表彰事業、各部会・委員会等の参加に関する窓口

(4) 神奈川県

情報周知ならびに各部会・委員会・ワーキンググループ等の参加に関する窓口

(5) 神奈川県精神障害スポーツ大会実行委員会に関する窓口

(6) 神奈川県病院協会事業に関する窓口

(7) 神奈川県理学療法士会事業に関する窓口

(8) 各団体後援名義使用に関する窓口

(9) 各団体表彰に関する窓口

(10) その他各団体事業への協業等に関する窓口

5. 文書・資料等の管理と発行

(1) 公文書発行：第2565号～第2741号 計896通

6. 資産の維持・管理に関すること

7. 事務局機能の強化

(1) 全国公益法人協会との契約（専門家の導入）

税制対応、経理業務の適正化、定款・規程に関する専門家への相談を目的に全国公益法人協会と契約。事務局機能の適正化及び強化を実施。

(2) 事務局員の新規採用活動

(3) 会員管理システムの作成・シクミネットとの契約

8. 県士会部・委員会との連携・協力体制の構築

(1) ワーキンググループ連携（選挙/会員モデル）

(2) その他 メールや電話にて適宜県士会部署との連携・協業

9. 局内連携と協業

(1) 事務局部員との連携協業

事務局会議：年間事業計画の確認、局員の役割確認、事業の振り返りなど

その他：書類確認、理事会内メール連絡、ホームページ研修会掲載などを分業

(2) 事務局員との連携

メール・電話・事務局訪問による事務局員との連携協業

事務局訪問と面談を実施し作業課題の抽出と解消、業務リスト化を推進

部署名：財務部	担当：(部長) 山勢健太郎
<p>1. 収入及び支出の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 決算書作成 (2) 予算案編成 (3) 監査実施 中間監査：2025年11月2日 期末監査：2026年4月4日 (4) 各部門会計処理方法を毎月確認 (5) 円滑な会費納入支援 <p>2. 財務管理体制に関する検討</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 財務管理システム変更の検討継続 (2) 財務状況の把握と調査 (3) 財務基盤の整備と強靱化についての検討(他部署と連携調整など) (4) 財務関連知識・技術と体制の更新 (5) 会計マニュアルの更新(適宜) (6) 全体方針、当士会事業と整合する助成金・補助金の調査、検討 <p>3. 三役、関係部署との連携（会議への出席、相談・支援等）</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 事務局：財務状況の把握、書類・マニュアルの整理・更新 (2) 三役：次年度予算案についての検討、財務状況に関する調査報告 (3) 臨床作業療法大会：臨床作業療法大会の財務に関する助言・支援 (4) 学会実行委員会：学会の財務に関する助言・支援 (5) その他各部署への財務に関する助言・支援 (6) 部長、会計担当者に対する会計説明会の実施 <p>4. 部内会議</p> <p>5. その他財務に関すること</p>	
部署名：規約部	担当：(部長) 神田 崇央
<p>1. 内規制定</p> <p>下記内規を制定した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 査読者選定内規 ・ MTDLP 基礎研修・事例検討会 講師謝金内規 ・ 臨床実習指導者講習会 講師謝金内規 <p>2. 規程修正</p> <p>下記規程を修正した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 組織規程 ・ 会員規程 ・ 選挙管理規程 <p>3. 規程制定</p> <p>下記規程を制定した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会参加費規程 	

部署名：福利部

担当：(部長) 澤口 勇

神奈川県作業療法士会会員の会員同士の交流を図ることや子育て・介護時にも参加しやすい取り組みの検討、倫理問題の窓口等「働きやすい職場・生活環境づくり」という側面からも、県士会に継続して加入してもらえるような企画運営を行った。

1. 会員交流企画

(1) 新入会員オリエンテーションの開催

2025年6月29日 IMS 横浜国際看護専門学校にて対面で実施

会員参加者 24名 理事 8名・部員 1名 計 33名

神奈川県作業療法士会の紹介後、グループに分かれ交流会を実施

(2) 県士会学会ブース出展への参画（広報部との協働）

会場参加者 35名 うち一般市民 2名 その場で県士会入会者も 1名あった

福利部では福利部の活動紹介とアンケート（子育て・介護・倫理問題で感じていること等）を行った／広報部では入会案内、賛助会員の紹介を実施

2. 求人・求職の推進活動

(1) 広報部（ウェブサイト）と協力し、県内施設の求人を HP 上に掲載対応

3. 各種表彰に基づく活動

(1) 日本作業療法士協会の特別表彰規定に該当する会員の推薦を、神奈川県作業療法士会の推薦・運用規定に基づき行う。

1) 日本作業療法士協会 2025年度 特別表彰受賞 該当者なし

(2) その他行政、関連団体に基づく表彰の該当者の推薦作業

1) 令和7年度神奈川県保健衛生表彰事務所長・知事賞 該当者なし

(3) 神奈川県作業療法士会の表彰の推薦と運用

現在の規程・内規に照合すると、70名弱の方が対象

規程・内規の見直しを行い、次年度での対応とする。

4. 倫理問題についての対応業務並びに啓蒙・啓発活動

(1) 日本作業療法士協会倫理要綱を遵守し、日本作業療法士協会と連携して職業倫理の遵守を推進していく。

1) 日本作業療法士協会 協会倫理連携担当者情報交換会への出席

(2) 神奈川県作業療法士会会員に対し、倫理にもとる言動・対応（主にセクシャルハラスメント、パワーハラスメント、マタニティーハラスメント等）があった場合の相談・対応業務 相談件数 0件

部署名：学術部

担当：(部長) 佐々木 秀一
(副部長) 青木 啓一郎

学術推進課

【スキルアップ研修班】 (全 11 回の研修会開催)

スキルアップ研修班は、地域社会振興部との共催を含めて研修会を 11 回開催した。研修会形式はハイブリッド形式が 1 回、対面が 2 回、zoom 形式が 8 回であった。オンライン決済システム「Peatix」の学術部のフォロワー数は、1,359 名（令和 8 年 3 月 13 日時点）であり、昨年同時期と比べて約 2 倍の増加となった。参加述べ人数は 674 名であり、昨年と比べ 42 名増加した。神奈川の延べ人数は 246 名であり、昨年と比べて 20 名減少した。1 回は、地域社会振興部と共催し、「多職種精神保健福祉セミナー」を開催した。参加費の収入は 947,500 円（地域社会振興部との共催企画分は除く）であり、昨年と比べて 164,500 円増加した。対面研修を 2 回開催し、かつ定員を多くしたことが影響していると思われる。

研修情報と参加数の内訳

- 1) 研修名：若手必見！作業療法の臨床推論力を高める CROT の活用方法
日時：2025 年 6 月 29 日 10:00-11:30 対面・Zoom 研修（ハイブリッド）
講師：藤本一博先生 認定 OT（茅ヶ崎中央病院）
参加者：県内会員 17 名，県内新会員 14 名，県外会員 13 名 合計：**44 名**
- 2) 研修名：手，肘関節の解剖・バイオメカを学び，徒手での動かし方を学ぼう！
日時：2025 年 7 月 5 日 13:30-16:30 対面研修
会場：北里大学病院
講師：堀江翔先生 専門 OT（金沢大学病院）
参加者：県内会員 23 名，県外会員 10 名，非会員 5 名 合計：**38 名**
- 3) 研修名：OT も知っておきたい！精神科薬のはなし
日時：2025 年 9 月 28 日 13:30-16:30 Zoom 研修
講師：成井繁先生 精神科薬物療法認定薬剤師（あおぞら薬局）
参加者：県内会員 35 名，非会員 10 名，県外 OT134 名，OT 以外 5 名合計：**184 名**
- 4) 研修名：急性期作業療法の役割 —ICU における臨床的可能性と多職種連携—
日時：2025 年 10 月 19 日 10:00-11:30 Zoom 研修
講師：塚越大智先生 OTR（信州大学医学部附属病院）
参加者：県内会員 32 名，県外会員 62 名，非会員 3 名，学生 1 名 合計：**98 名**
- 5) 研修名：認知機能の評価・介入に悩んだことのある精神科作業療法士必見！
できることを最大限に
—Allen 認知能力障害モデルの理論と事例から学ぶ支援のヒント—
日時：2025 年 11 月 23 日 13:30-16:30 Zoom 研修
講師：木納 潤一先生 認定 OT（秋津鴻池病院）
参加者：県内会員 11 名，非会員 1 名，県外 OT 36 名，OT 以外 1 名 合計：**49 名**

- 6) 地域社会振興部と連携した企画（当士会と神奈川県精神保健福祉士協会の共催）
 研修名：第 13 回 多職種精神保健福祉セミナー
 トラウマインフォームドケア (TIC) に基づいた介入について学ぶ！
 日時：2025 年 12 月 6 日 13:00-14:30 Zoom 研修
 講師：木内寛長先生 精神保健福祉士 公認心理師（宇宙全てと大爆笑 株式会社）
 柳田崇姉先生 看護師（公益財団法人紫雲会 横浜病院）
 参加者：OT 6 名，PSW（相談員等）18 名，看護師 1 名，
 対人支援・組織開発研修講師（企業）1 名 合計：26 名
- 7) 研修名：発達領域における子どもと家族を中心とした目標指向型アプローチ
 -目標設定から戦略立案までの視点-
 日時：2025 年 12 月 21 日 10:00-11:30 Zoom 研修
 講師：倉昂輝先生 OTR（神戸学院大学）
 県内会員：20 名，県外会員：26 名，非会員：2 名 合計：48 名
- 8) 研修名：明日から実践できる！スマホのアクセシビリティ機能やアプリを使用したコミュニケーション（意思疎通）支援と社会参加支援
 -脳卒中・高次脳機能障害・脊髄損傷・難病の事例を通して学ぶ-
 日時：2026 年 1 月 11 日 10:00-11:30 Zoom 研修
 講師：濱口陽介先生 OTR（川崎市中部リハビリテーションセンター）
 県内会員：36 名，県外会員：23 名，非会員：2 名 合計：61 名
- 9) 研修名：作業に根差した実践に活かす多職種連携
 -信念対立解明アプローチ活用のための基礎知識-
 日時：2026 年 2 月 15 日 10:00-11:30 対面研修
 講師：宇都宮裕人先生 認定 OT（イムス横浜東戸塚総合リハビリテーション病院）
 県内会員：24 名，県外士会員：29 名，非会員：2 名 合計：55 名
- 10) 研修名：精神科 OT×個別支援カンファレンス
 日時：2026 年 3 月 8 日 13:30-16:30 Zoom 研修
 講師：松岡太一先生 OTR PSW（福井記念病院）
 氏井直樹先生 OTR（福井記念病院）
 参加者：県内会員 3 名，非会員 3 名，県外 OT 28 名，OT 以外 2 名 合計：36 名
- 11) 研修名：脳卒中後の上肢機能アプローチ
 -エビデンスと臨床実践をつなぐ戦略-
 日時：2026 年 3 月 15 日 9:30-12:30 対面研修
 会場：済生会東神奈川リハビリテーション病院
 講師：廣瀬卓哉先生 専門 OT（湘南慶育病院）
 県内会員：29 名，県外会員：4 名 合計：33 名

【学術誌編集班】

『神奈川作業療法研究 (The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research) 2025 Vol.15』を電子ジャーナル「J-STAGE」にて発刊した。過去5年間の年間平均投稿数は約4件であったが、昨年度は14件と大幅に増加した。これは、神奈川県作業療法士会会員への広報活動や、神奈川県作業療法学会において投稿を促す取り組みを行ったことが、投稿論文の増加に寄与したものと考えられる。投稿数の増加に伴い、編集・査読体制の強化を図った。現在、編集委員は15名、査読委員は32名まで増員している。また、県外の査読者も登用することで、多様な研究分野からの投稿にも対応できる組織体制を整備した。

【研究助成班】

1. 2025年度の研究助成事業

申請者は、研究Ⅰ（研究組織2人以上の一般会員）が1名、研究Ⅱ（研究代表者は免許取得7年目以下で、研究組織は1人以上）が2名の計3名であった。書類審査および合議審査の結果、以下の2課題を承認した。

① 研究Ⅰ

研究代表者：青木 啓一郎（昭和医科大学）

研究課題：狭窄性腱鞘炎に対するフロッシング介入の効果検証

助成金額：200,000円

② 研究Ⅱ

研究代表者：伊藤 拓人（済生会東神奈川リハビリテーション病院）

研究課題：回復期リハビリテーション病棟に所属する作業療法士における脳卒中患者の復職支援：復職可否による支援内容の違いと後方施設を経由する事例の違いについて

助成金額：200,000円

2. 学会発表および論文文化

① 学会発表

研究代表者：山本 潤（国際医療福祉大学，2024年度対象）

発表学会：第59回日本作業療法学会

演題テーマ：高次脳機能障害による着衣障害に対する作業療法の実態調査

② 論文文化

研究代表者：駒場 一貴（昭和医科大学，2023年度対象）

投稿先：Asian Journal of Occupational Therapy 21: 94-102, 2025

論文タイトル：Survey on Occupational Therapy and Postgraduate Education in Intensive Care Units in Japan

3. 研修会

2024年に実施した「研究の一步を踏み出したい方は必見！研究助成班が伝える 研究のはじめ方」という研修会動画を希望者に公開した。

学会支援課

1. 第 20 回神奈川県作業療法学会の開催報告

開催日時：2025 年 9 月 20 日（土）～21 日（日）

会場：横浜市開港記念会館

学会長：中西 理佐子先生（横浜南共済病院リハビリテーション科）

テーマ：「Science&Sustainability～次世代へ伝えたい作業療法の魅力～」

参加者数：9 月 20 日（土）県民公開講座「認知症とともに生きる」

一般参加 57 名、作業療法士 29 名、合計 **86 名**

9 月 21 日（日）学会本体

参加登録者数（合計）：**336 名**

当日参加者数：**259 名**

神奈川県士会会員：216 名（64.3%） 他都道府県士会会員：31 名（9%）

他職種：6 名（1.8%） 非会員：31 名（9%） 学生：52 名（15%）

2. 第 7 回神奈川県臨床作業療法大会の支援

開催日時：2026 年 12 月 6 日（日）

テーマ：「ニッチは、やがてプロフェッショナルへ」

大会長：小砂 哲太郎先生（久里浜医療センター）

実行委員長：須藤 淳先生（横浜市立脳卒中・神経脊椎センター）

財務担当：佐藤 範明先生（神奈川県立保健福祉大学）

会場：神奈川県立保健福祉大学 横須賀キャンパス

大会コンセプト

「作業療法のニッチなところを覗けるきっかけになること」を目指す大会。学生や新人が作業療法の魅力を感じ、知見を広げられる場を目指しており、経験年数・職種を問わず幅広い参加を歓迎している。大会イメージには横須賀の海と灯台を採用。

3. 第 21 回神奈川県作業療法学会の支援

開催日時と方法：検討中

学会長：木下剛（湘陽かしわ台病院）

【演題登録システム Confit 3 ヶ年導入について】

第 20 回県学会・第 7 回臨床大会（2026 年）まで、演題登録・管理システム「Confit」を導入済み。県学会終了後のフォロー体制・他業者との比較を踏まえ、第 21 回以降のシステム選定について改めて検討を行っている。

部署名：教育部

担当：(部長) 神保洋平
(副部長) 村仲隼一郎

教育推進課

1. 生涯教育制度関連研修会開催

(1) 現職者共通研修：全 10 テーマ開催 参加者合計：706 名

1) 2025 年 10 月 5 日 (日) オンライン開催 合計：278 名参加

「作業療法生涯教育概論」 講師 神保洋平氏 参加者 63 名

「職業倫理」 講師 野本義則氏 参加者 74 名

「実践のための作業療法研究」 講師 青木啓一郎氏 参加者 71 名

「事例報告と事例研究」 講師 増田雄亮氏 参加者 70 名

2) 2025 年 11 月 30 日 (日) オンライン開催 合計 315 名参加

「作業療法の可能性」 講師 錠内広之氏 参加者 75 名

「作業療法における協業・後輩育成」 講師 岩上さやか氏 参加者 76 名

「保健・医療・福祉と地域支援」 講師 田中ゆかり氏 参加者 73 名

「日本と世界の作業療法の動向」 講師 猿爪優輝氏 参加者 91 名

3) 2026 年 2 月 8 日 (日) オンライン開催 合計 104 名

「事例検討」 参加者名 55 名

「事例報告」 参加者名 49 名

4) 事例検討・事例報告読み替え申請 合計 17 件

事例検討読み替え申請 3 件 事例報告読み替え申請 14 件

(2) 現職者選択研修：2 領域開催 参加者合計 174 名

1) 2025 年 12 月 20 日 (土) オンライン開催 参加者数 41 名

「精神障害領域の作業療法」

講師：小砂哲太郎氏, 水野健氏

2) 2026 年 1 月 25 日 (日) オンライン開催 参加者数 133 名

「身体障害領域の作業療法」

講師：藤本一博氏, 井上由貴氏, 村仲隼一郎氏, 小貫早希氏

2. 臨床実習指導者講習会の開催

(1) 臨床実習指導者講習会 参加者合計 140 名

1) 2025 年 10 月 25 日 (土) ～26 日 (日) オンライン開催

世話人 述べ 14 名 参加者 70 名

2) 2025 年 12 月 6 日 (土) ～7 日 (日) オンライン開催

世話人 述べ 14 名 参加者 70 名

(2) 臨床実習指導者アドバンスコース研修会

1) 2026 年 3 月 8 日 (日) オンライン開催 参加者 12 名

講師 石川恵美子氏・神保洋平氏・水野健氏・村仲隼一郎氏

3. 事例報告登録制度の広報、事例報告登録推進研修会開催

日本作業療法士協会事例報告登録制度 (一般事例) システムが停止したため中止

4. 生涯学修制度の広報、啓蒙、推進

- (1) 県士会ニュース, website への記事掲載, 養成校卒業生への案内郵送を実施.
- (2) 生涯学修制度説明会 (福利部との共同開催) 参加者 31 名 (3/11 現在)
 - 1) 2026 年 4 月 22 日 (水)・30 日 (木) オンライン開催 (参加者 14 名 3/15 現在)
「現職者向け説明会」講師 神保洋平氏
 - 2) 2025 年 5 月 20 日 (水)・27 日 (水) オンライン開催 (参加者 0 名 3/15 現在)
「新卒者向け説明会」講師 神保洋平氏, 山勢健太郎氏

5. SIG 団体の登録管理

新規登録申請なし.

6. 生涯教育制度システム利用による研修会バーコード受付及び関連手続き ウェブ開催の場合における受講者の受講履歴チームによる登録

- 1) バーコード読み取りによる研修会受け付けは実施していない
- 2) ポイント登録チームを編成して登録作業を実施

7. その他生涯教育制度関連事項

県士会ウェブサイトやメールでの質問対応.

8. 日本作業療法士協会生涯教育制度部局との連携

- (1) 日本作業療法士協会教育部生涯教育制度推進担当者会議 1 回 (1/31~2/1)
- (2) 協会ポイント管理システム管理者の登録、受講履歴修正申請などの手続きを実施.

MTDLP 推進育成課 (旧 生活行為向上マネジメント推進委員会)

1. 生活行為向上マネジメントの講習会を企画・開催

- (1) MTDLP 基礎研修 (対面)
 - 1) 2025 年 10 月 12 日 (日) 8:30~17:30
参加者: 正会員 25 名 他士会員 7 名 **合計 32 名**
 - 2) 2026 年 2 月 1 日 (日) 8:30~17:30
参加者: 正会員 36 名 他士会員 1 名 **合計 37 名**
- (2) MTDLP 事例報告会 (オンライン)
 - 1) 2025 年 9 月 28 日 (日) 13:00~16:00
参加者: 正会員 4 名 他士会員 3 名 学生 5 名
合計 12 名 (報告者 3 名 聴講 9 名)
 - 2) 2025 年 11 月 2 日 (日) 13:00~16:00
参加者: 正会員 6 名 他士会員 5 名 **合計 11 名** (報告者 5 名 聴講 6 名)
 - 3) 2025 年 12 月 14 日 (日) 13:00~16:00
参加者: 正会員 6 名 他士会員 3 名
合計 9 名 (報告者 1 名 聴講 8 名)
 - 4) 2026 年 1 月 18 日 (日) 13:00~16:00
参加者: 正会員 4 名 他士会員 2 名
合計 6 名 (報告者 3 名 聴講 2 名)

2. MTDLP 口頭試問に向けた支援・準備

2025 年度より新たに開始された MTDLP 指導者資格取得のための口頭試問に関する県士会教育部としての支援体制の構築

3. MTDLP の普及・推進

広報誌に MTDLP に関する記事を毎号掲載し、ウェブサイトにも記事を掲載

4. 日本作業療法士協会主催の MTDLP 全国推進会議に出席

第 1 回 MTDLP 全国推進会議 (10/20)

第 2 回 MTDLP 全国推進会議 (12/17)

第 3 回 MTDLP 全国推進会議 (2/22)

5. 第二回 MTDLP 事例審査会 (口頭試問) への参加

協会が主催する審査会へ、担当理事 (村仲) が審査員として参加

部署名：制度対策部

担当：(部長) 佐藤 範明
(副部長) 佐藤 隼

制度対策部運営

1) 班長会議 年 4 回

2025 年 11 月 25 日 (火) 19:00-20:00 2026 年 1 月 21 日 (水) 19:00-19:45

2026 年 1 月 23 日 (金) 19:00-20:00 2026 年 3 月 24 日 (火) 19:00-20:00

2) 班会議

事業進捗に合わせメール会議やウェブ会議を適宜開催した。

【社会保障制度班】

1. 社会保障制度に関する事業

(1) 作業療法に関わる社会保障制度の情報収集と発信

1) 県士会ニュース「保険情報コーナー (OT が知っておくべき制度情報コーナー)」の掲載 3 件

2) ブログによる情報発信 (合計: 3 件)

研修会のお知らせ 1 件

研修会報告 2 件

(2) 社会保障制度対策研修会

1) 研修名：＝障害者総合支援法の一部改正＝

新たに創設される「就労選択支援」とは何か～大きく変わる就労支援～

講師：社会福祉法人藤沢ひまわり 船山 敏一氏

日時：2025 年 7 月 13 日 (日) 14:15-16:15

場所：茅ヶ崎市勤労市民会館 (ハイブリッド形式)

参加者数：正会員 26 名 非会員 11 名

合計 37 名

2) 研修名：精神科医療における身体拘束とその人権状況

～身体拘束への注目が集まるなか作業療法士は何をすべきか～

講師：杏林大学 長谷川 利夫氏

日時：2025年10月30日（日） 14：15-16：15

場所：茅ヶ崎市勤労市民会館（対面形式）

参加者数：正会員6名 非会員1名

合計7名

【福祉用具班】

1. 福祉用具に関する事業

1) 福祉用具相談支援システム／生活行為工夫情報

2026年2月11日(水)19:30～

「福祉用具相談支援システム・生活行為工夫情報事業

に関する事業説明会（オンライン）」を実施。参加者4名。

2) 福祉用具に関する他団体への協力

① 学術部と合同研修会

スキルアップ研修会 8) 参照

② 国際福祉機器展

「ふくしの相談コーナー」への JAOT 生活環境支援推進室より派遣要請に対応

日時：2026年10月8日～10日 当班から部員3名を派遣。

【災害対策班】

1. 災害対策に関する事業

1) 安否確認システムの運用

日本作業療法士協会と連携した災害時安否確認システム訓練の実施。

日時：2025年9月25日

安否回答数：**26件**

2) 災害対策に関する情報の収集と発信

ブログによる情報発信：2件

・令和7年度神奈川 DWAT チーム員登録研修について

・2025年度 大規模災害発生を想定したシミュレーション訓練について

3) 行政・他団体との連携及び神奈川 DWAT への参画の検討

① 2025年8月28日（木） DWAT 実働訓練 参加者：1名

② 2025年12月7日（日） DWAT ロールプレイ訓練 参加者：2名

③ 2026年2月25日（水） DWAT 本部訓練 参加者：2名

④ 2025年7月22日（火） かながわ JRAT ミーティング 第1回 参加者：2名

⑤ 2025年12月23日（火） かながわ JRAT ミーティング 第2回 参加者：3名

⑥ かながわ災害福祉広域支援ネットワーク連絡会への出席

（令和7年度：当士会より会員27名が登録）

4) 災害支援に関する研修会の開催

研修会：第2回 PT・OT・ST 合同災害対策研修会 三県士会共催

日時：2026年3月21日 13:00～16:00 オンライン開催 参加者：21名

【自動車運転班】

1. 自動車運転と作業療法に関する事業

1) 自動車運転と作業療法に関する情報収集と発信

- ①ウェブサイトによる情報発信 3件
- ②県士会ニュースへの記事掲載 3件
 - ・～免許センターへの情報提供について～
 - ・～神奈川県免許センター意見交換会 2025 について～
 - ・～失語症患者様への自動車運転支援について～

2) 自動車運転と作業療法に関する研修会実施

①神奈川県警察免許センター見学会 2025

日時：2025年5月22日（木）16:15～17:15

場所：神奈川県警察運転免許センター

参加者数：14名

②神奈川県運転免許センター見学会 2025 第二回

日時：2025年6月12日（木）16:15～17:15

場所：神奈川県警察運転免許センター

参加者数：13名

③神奈川県自動車運転支援意見交換会

日時：2026年3月1日（日）10:00～12:00

場所：横浜なみきりハビリテーション病院

参加者：5名

3) 他団体（免許センターなど）との連携体制構築

運転と地域移動に関する全国協力者会議

2025年12月7日（日）13:00～17:00 班員出席

4) 他団体（神奈川県指定教習所協会など）との連携体制構築

指定教習所協会との協議は継続し、神奈川県内の教習所で今後使用していく、教習所向けリハサマリーを作成している。

部署名：広報部

担当：(部長) 野本 義則
(副部長) 佐藤 範明

対外広報課

1. 日本作業療法士協会などとの連携

(1) 協会・士会説明および入会促進事業への協力

1) 養成校学生向け協会・士会説明会：県内を中心とする養成校等計 7 校に実施。

・湘南医療大学：2025 年 10 月 28 日

・横浜 YMCA 学院専門学校：2025 年 11 月 5 日

・昭和医科大学：2025 年 12 月 2 日 ・国際医療福祉大学：2025 年 12 月 3 日

・茅ヶ崎リハビリテーション専門学校：2025 年 12 月 5 日

・東京医療学院大学（東京都士会と合同）：2026 年 3 月 4 日

・横浜リハビリテーション専門学校：資料送付および学内教員による実施

2) 未入会者向け説明会：神奈川県作業療法学会会場（2025 年 10 月）にて、福利部と共同で入会促進ブースを運営。会員 35 名が来訪、入会受付 1 名

(2) 他県士会広報部との意見交換

2025 年 10 月 20 日に栃木県士会広報部とオンライン情報交換会実施

啓発手法の知見などについて情報共有

(3) 県士会内会員増ワーキンググループへの参画

2. 『県士会ニュース』発行・送付

1) 発行回数：年 6 回（偶数月発行）

※8・10月号は印刷物を送付。12・2・4・6月号はウェブサイト公開

2) 印刷部数：約 2,500 部（送付号のみ）

3) 送付先：会員（賛助会員含む）、関連団体、県内養成校

4) 編集会議：ニュース編集班員による Slack およびメールにて適宜実施

5) レイアウト・印刷・発送作業の委託：高陽印刷所に継続委託

3. 作業療法に関する啓発活動

(1) 一般県民を対象とした活動

1) 「かながわ介護フェア」ブース出展（横浜）

日時：2025 年 11 月 1 日出展

内容：作業療法啓発、介護相談等 **48名に対応**

2) 「かわさき健康・介護フェア」ブース出展（川崎）

日時：2026 年 1 月 27 日出展

内容：作業療法紹介ミニ講座、相談対応 **58名に対応**

神奈川県副知事へ作業療法を説明する機会を得た

3) 「認知症当事者と家族の会」運営協力：2025 年 5 月 28 日および 9 月 28 日

内容：ミニ講座、アンデルセン手芸体験等のファシリテーターを担当

(2) 児童生徒を対象とした活動

1) 作業療法に興味のある児童生徒などに対する施設見学会の開催

募集期間：2025 年 8 月 1 日～9 月 25 日 応募なし

情報発信課

1. 県士会ウェブサイトおよび SNS などの管理運営

(1) 情報更新実績 (WEB サイト)

会員の利便性向上に直結する情報を、年間を通じて高い頻度で継続的に掲載した

- 1) 求人情報：月平均 10 件以上を維持
- 2) 講習会・研修会案内：月平均 30 件以上を迅速に更新

(2) 新着メールマガジン「Kana からの手紙」の発行

会員へのダイレクトな情報提供手段として、高頻度の配信を継続した

- ・登録者数：328 名 (2026 年 3 月 31 日時点)
- ・発行件数：年間 79 件

(3) SNS メディアの運用実績 (2026 年 3 月 31 日時点)

多様なプラットフォームを活用し多方面へのリーチと作業療法の認知向上を図った。

- 1) X (旧 Twitter)：フォロワー数 424 名、開設からの総ポスト数 15,901 件
- 2) Facebook：フォロワー数 329 名
- 3) YouTube：登録者数 20 名、公開動画数 15 本、総再生数 4464 回
- 4) Instagram：フォロワー数 194 名。

(4) 県士会ニュース・WEB 連動スペシャルコンテンツ

機関誌と WEB を連動させ、毎号特色ある情報提供を実施した。

- ・4 月 (232 号)：ウェブ管的知恵袋
- ・6 月 (233 号)：作業療法の魅力を語る
- ・8 月 (234 号)：作業療法お役立ちコンテンツ
- ・10 月 (235 号)：県士会サイト 研修会情報・求人情報案内
- ・12 月 (236 号)：漫画でわかる はじめての学会発表
- ・2 月 (237 号)：県士会ブログ紹介

(5) 委員会運営会議・意思決定

円滑な部署運営と WEB サイト刷新に向けた合意形成を、対面およびデジタルツールを駆使して行った。

1) 委員会運営会議 (開催 2 回)

- ・2025 年 11 月 11 日：現状の運営状況確認および業者委託に向けた意見交換。
- ・2026 年 3 月 16 日：次年度に向けた最終確認および総括。

2) メール会議 (メーリングリスト活用)

- ・2024 年 4 月～2025 年 3 月末まで計 107 通実施し、迅速な意思決定を維持した。

(6) 公式 WEB サイトリニューアルの着手：

将来的な安定運営のため業者委託を決定。

業者選定コンペ (2026 年 1 月 30 日) を経て、新サイト構築に向けた第 1 期設計に着手

(7) 事務効率化の検討

部署名：地域社会振興部

担当：(部長) 佐藤 隼
(副部長) 石川 恵美子

地域事業課

【人材育成班】

1. 研修会等の開催

- 1) 研修会名：神奈川で繋がろう地域ミーティング～地域支援事業への参画方法～
日時：2025年9月24日 オンライン開催
講師：遠藤 陵晃 氏
参加者：**59名**
- 2) 研修会名：即実践！地域支援事業における OT 活躍メソッド
日時：2025年11月16日 対面開催：横浜 YMCA 学院専門学校
講師：石川 恵美子 氏 梶ヶ谷 聡 氏
参加者：**17名**
- 3) 研修会名：神奈川で繋がろう地域ミーティング～集まれ！地域に興味がある OT～
日時：2026年1月21日 オンライン開催
講師：初鹿 真樹 氏
参加者：**34名**
- 4) 研修会名：地域リハビリテーション人材育成研修会
日時：2026年3月1日 対面開催：横浜 YMCA 学院専門学校
講師：河野 麻美 氏 土山 雄矢 氏 佐藤 隼 氏
参加者：**11名**

【横浜支援班】

1. 地域支援事業への参画

- 1) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業への対応
派遣回数：**42回** 派遣実人数：**15名**
- 2) 横浜市地域リハビリテーション活動支援事業検討会への参加
全4回(4/28・7/30・12/10・3/3)
- 3) 横浜市介護予防業務研修(基礎編)への対応
6/19「高齢者の通いの場、社会参加について」講義担当

【広域事業班】

1. 地域支援事業への参画

- 1) 介護予防普及展開事業(県アドバイザー派遣)への対応
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会から横須賀市と藤沢市に対応
- 2) 県内で行われた事業への参加
湘南西部ブロック活動報告会(5/9)
かわさき地域リハビリテーションネットワーク(6/27)
横浜市生活支援体制整備推進会議(9/2)
綾瀬市医療介護連携会議(11/14)
神奈川県建築士会主催研修会(11/29)

大井町地域ケア会議（7/28・1/19）

中井町地域ケア会議（10/20）

茅ヶ崎市地域ケア会議（1/15）

横須賀市地域ケア会議（毎月）

2. 人材ネットワークの実態調査

地域リハビリテーションに関する情報収集をするため下記事業を実施。

(1) 地区戦会議（市町村窓口担当者情報交換会）（8/19・3/16）

県内9地区における地域支援事業の内容と作業療法士の参画状況について共有する

(2) 地域リハビリテーション人材バンク検討会議（2/19）

OT協会の新たな教育システムを共有、当士会としての人材管理について検討する

→次年度も継続的に人材バンク構築に向けた課題に着手していく

地域リハ課

【こども班】

1. 研修会等の開催

1) 研修会名：フロントライン～OTが関わる5歳児健診の最前線を知る～

日時：2025年9月28日 対面開催：横浜YMCA学院専門学校

講師：東恩納拓也氏 岩永竜一郎氏

参加者：25名

2) 研修会名：作業療法の視点から考える不登校支援

日時：2026年1月14日 オンライン開催

講師：松永優佳子氏

参加者：52名

3) 研修会名：発達OTの学びとつながり

日時：2026年3月4日 オンライン開催

講師：市村颯麻氏 芝本里奈氏

参加者：18名

2. OT協会主催の研修会・意見交換会への参加

1) 教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会（7/19）

2) 5歳児健診への作業療法士参画に関する意見交換会（8/31）

3) 5歳児健診への作業療法士参画に関する研修会（12/7・2/8）

4) 教育領域への作業療法士参画に向けた意見交換会（1/16）

【精神保健福祉班】

1. 研修会等の開催

1) 研修会名：トラウマインフォームドケア(TIC)に基づいた介入について学ぶ！

日時：2025年12月6日 対面開催：横浜SSJ本部

講師：木内寛長氏 柳田崇姉氏 参加者：24名

2. OT協会主催の研修会・意見交換会への参加

1) 精神科領域における訪問の現状と課題・実践に関する意見交換会（11/16）

【認知症対策班】

1. 研修会等の開催

- 1) 研修会名：オレンジノベーション・プロジェクトに参加しませんか！

日時：2026年2月8日 対面開催：横浜 YMCA 学院専門学校

講師：内山 智香子 氏

参加者：15名

- 2) 研修会名：回復期リハビリテーション病棟で活かす認知症の理解と対応の実際

日時：2026年3月6日 オンライン開催

講師：田中 寛之 氏 天真 正博 氏 本田 朝花 氏

参加者：72名

2. 地域支援事業への参画

- 1) 川崎市麻生区認知症一体的支援事業への対応

全6回(5/28・7/23・9/24・11/26・1/28・3/25)、講話やアクティビティ提供の担当

- 2) 認知症をにんちしよう会への参加

6/15「認知症フォーラム 2025」相談ブースの担当

定例会(4/14・7/14・9/1・12/1・3/16)

- 3) 大和市認知症カフェへの参加

3/5 オレンジノベーション・プロジェクトによる本人ワーキングに同席(6名)

3. OT協会主催の研修会・意見交換会への参加

- 1) 各都道府県士会認知症関連担当者同士による意見交換会(1/31)

【難病リハ班】

1. 研修会等の開催

- 1) 研修会名：OTが担う意思決定支援と専門性の発揮

日時：2026年2月28日 オンライン開催

講師：安田 真琴 氏 成田 拓 氏 三村 祥子 氏 木口 貴史 氏

参加者：17名

【スポーツ支援班】

1. 研修会等の開催

- 1) スポーツ支援班 キックオフ情報交換会

日時：2026年2月12日 オンライン開催

講師：佐藤 俊之 氏

参加者：14名

【訪問・通所班】

1. 神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会への参加

- 1) 訪問リハビリテーション実務者研修会

日時：2025年11月30日 オンライン開催

参加者：14名

- 2) 地域リハ研修会

日時：2026年3月7日 対面開催：ウィリング横浜

参加者：23名

- 3) 三士会長会議(3/18)

- 4) 運営会議(4/16・5/21・6/18・7/7・8/4・9/1・10/6・11/10・12/8・1/12・2/9)

2. OT 協会主催の研修会・意見交換会への参加

- 1) 地域事業支援会議 (6/19・10/4-5・2/15)
- 2) Bブロック会議 (7/22・11/18・3/10)

部署名：エリア連携部

担当：(部長) 佐伯 まどか
(副部長) 野本 義則

1. 交流会の開催

(1) OT コネクトミーティング

会員同士が繋がれる場づくりとして WEB にて開催した。

日時：3月8日(日) 21:00~22:00

テーマ：「今話題の学校作業療法を知ろう！」

ゲスト：仲間知穂さん(こどもセンターゆいまわる)

参加者数：18名

(2) OT エリアミーティング

地域の会員同士が繋がれる場として8回企画し、6回開催をした。

日程	エリア	参加者数
9月30日(火)	相模原&県央	4名
11月20日(木)	横浜&川崎	5名
11月24日(月)	県西&横浜西部	4名
12月10日(水)	湘南東部&横須賀三浦	3名
1月26日(月)	相模原&県央	1名
1月29日(木)	県西&湘南東部	4名
2月12日(木)	湘南東部&横須賀三浦	0名
2月19日(木)	横浜&川崎	0名

2. 地域支援活動助成金事業

(1) 令和6年度助成金事業

令和6年度は3件の助成事業が実施されました。

団体名	実施日・事業名	助成金額
ココロとカラダ @SAGAMIHARA	実施日：令和7年10月5日 市民ならびに支援者向けメンタルヘルス普及啓発事業「依存症や成人期の神経発達症(発達障害)への支援」	50,000円
ほほえみ訪問看護リハビリテーション	実施日：令和7年4月1日~12月6日(8時間) 地域ケアプラザと共同し地域高齢者グループに継続介入する事での効果検討	50,000円 3,940円返金
車いす街歩き実行委員会	実施日：令和7年11月23日 「車椅子×着物×街歩きガイド」で小田原を歩こう!	50,000円

(2) 令和7年度助成金事業

2事業の申請があり審査チームにて確認し、理事会で検討の結果1事業に対し助成することとした。

団体名	実施日・事業名	助成金額
ココロとカラダ @SAGAMIHARA	実施日：令和7年10月5日 市民ならびに支援者向けメンタルヘルス普及啓 発事業 「依存症や成人期の神経発達症(発達障 害)への支援」	50,000円

3. その他エリア化推進に関すること

エリア化の具体的計画のため会議を開催し、理事会へ提案を行った。

部署名：会員ワーキング

リーダー：田中ゆかり
メンバー：望月強併、玖島弘規、澤口勇、
神田崇央、青木啓一郎、金山桂

1. 検討会議の実施（4回）

- 1) 学生会員への周知に向けた具体策の検討
- 2) 制度開始に伴う入退会者数への影響についての分析検討
- 3) 各部事業の整理と役割分担、次年度事業に向けた検討
- 4) 今後の会員ワーキングについて検討

2. 連絡調整（メールにて実施）

3. 資料作成

※WGは今年度のみ活動とし、次年度は事務局「会員班」を設置して活動継続する。

部署名：選挙ワーキング

リーダー：田中ゆかり
メンバー：玖島弘規、神田崇央

1. 検討会議の実施（5回）、連絡調整（メール）

- 1) 役員選挙の振り返りとまとめ
- 2) 規程の見直しについて
- 3) マニュアルの改訂について

2. 情報収集（理事に対するアンケートの実施）、各自で見直しや修正作業

3. 選挙管理委員会との打ち合わせ会議（1回）および連絡調整（メール）

第2号議案 2025年(令和7年)度決算報告ならびに監査報告

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 令和7年度決算報告

自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日

収入の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	備考
会費収入	16,160,000	0	16,160,000	16,505,466	
正会員会費収入	16,100,000		16,100,000	16,410,466	入会金含む
賛助会員会費収入	60,000		60,000	95,000	
研修会費収入	3,578,000	0	3,578,000	5,849,300	
学術部	900,000		900,000	941,500	
教育部	2,300,000		2,300,000	3,281,000	
地域社会振興部	98,000		98,000	248,500	
制度対策部	280,000		280,000	70,500	
第20回県学会参加費	0		0	1,065,800	
第20回県学会企業収入	0		0	242,000	
助成金収入	150,000	0	150,000	165,000	
	150,000		150,000	165,000	
広告収入	50,000	0	50,000	6,000	
雑収入	20,000	0	20,000	177,941	
利息	0	0	0	75,479	
運営費取り崩し	6,719,240	0	6,719,240	0	
第21回県学会前年度繰越金	935,008		935,008	935,008	
収入合計	27,612,248	0	27,612,248	22,779,186	

支出の部

	当初予算額	補正予算額	計	決算額	増減・残
事務局+財務+規約	11,859,600	0	11,859,600	9,820,555	2,039,045
給与手当	4,392,000		4,392,000	2,377,041	2,014,959
福利厚生費	80,000		80,000	182,951	▲ 102,951
会議費	0		0	0	0
旅費交通費	570,000		570,000	349,240	220,760
消耗品費	80,000		80,000	73,895	6,105
印刷製本費	170,000		170,000	500,812	▲ 330,812
修繕費	35,000		35,000	0	35,000
賃借料	1,644,200		1,644,200	1,691,815	▲ 47,615
光熱水費	300,000		300,000	194,190	105,810
広告宣伝費	0		0	39,600	▲ 39,600
渉外費	70,000		70,000	97,610	▲ 27,610
通信運搬費	1,609,400		1,609,400	1,051,767	557,633
委託費	2,386,000		2,386,000	2,456,919	▲ 70,919
諸謝金	0		0	0	0
負担金	10,000		10,000	10,000	0
消耗備品費	103,000		103,000	235,332	▲ 132,332
備品費	0		0	0	0
その他活動費	0		0	0	0
支払手数料	350,000		350,000	548,583	▲ 198,583
雑費	60,000		60,000	0	60,000
保険料	0		0	0	0
租税公課	0		0	10,800	▲ 10,800
寄付金	0		0	0	0

福利部	247,500	0	247,500	82,022	165,478
福利厚生費	0	0	0	2,479	▲ 2,479
会議費	0	0	0	0	0
旅費交通費	34,000	34,000	34,000	0	34,000
消耗品費	30,000	30,000	30,000	32,316	▲ 2,316
印刷製本費	0	0	0	0	0
賃借料	0	0	0	0	0
渉外費	52,000	52,000	52,000	13,941	38,059
通信運搬費	83,000	83,000	83,000	30,866	52,134
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	11,500	11,500	11,500	0	11,500
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	30,000	30,000	30,000	0	30,000
備品費	5,000	5,000	5,000	0	5,000
支払手数料	0	0	0	2,420	▲ 2,420
雑費	2,000	2,000	2,000	0	2,000
学術部	1,842,920	0	1,842,920	1,347,747	495,173
福利厚生費	60,000	60,000	60,000	17,293	42,707
会議費	0	0	0	144,000	▲ 144,000
旅費交通費	127,000	127,000	127,000	63,808	63,192
消耗品費	70,000	70,000	70,000	0	70,000
印刷製本費	130,000	130,000	130,000	597	129,403
賃借料	40,000	40,000	40,000	24,898	15,102
渉外費	20,100	20,100	20,100	0	20,100
通信運搬費	455,300	455,300	455,300	182,275	273,025
委託費	318,000	318,000	318,000	487,772	▲ 169,772
諸謝金	587,520	587,520	587,520	383,500	204,020
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	10,000	10,000	10,000	0	10,000
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	25,000	25,000	25,000	38,094	▲ 13,094
雑費	0	0	0	5,510	▲ 5,510
教育部	2,561,000	0	2,561,000	2,355,010	205,990
福利厚生費	20,000	20,000	20,000	8,580	11,420
会議費	0	0	0	11,000	▲ 11,000
旅費交通費	86,000	86,000	86,000	10,360	75,640
消耗品費	12,000	12,000	12,000	0	12,000
印刷製本費	70,000	70,000	70,000	13,485	56,515
賃借料	180,000	180,000	180,000	0	180,000
渉外費	6,000	6,000	6,000	0	6,000
通信運搬費	250,000	250,000	250,000	128,730	121,270
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	1,922,000	1,922,000	1,922,000	2,095,170	▲ 173,170
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	0	0	0	0	0
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	15,000	15,000	15,000	47,685	▲ 32,685
雑費	0	0	0	40,000	▲ 40,000
広報部	2,648,000	0	2,648,000	1,814,452	833,548
福利厚生費	0	0	0	6,947	▲ 6,947
会議費	0	0	0	1,000	▲ 1,000
旅費交通費	54,000	54,000	54,000	21,590	32,410
消耗品費	1,000,000	1,000,000	1,000,000	45,378	954,622
印刷製本費	18,000	18,000	18,000	0	18,000
賃借料	50,000	50,000	50,000	859,986	▲ 809,986
渉外費	0	0	0	0	0
通信運搬費	1,217,000	1,217,000	1,217,000	874,876	342,124
委託費	0	0	0	0	0
諸謝金	0	0	0	0	0
負担金	0	0	0	0	0
消耗備品費	155,000	155,000	155,000	0	155,000
備品費	0	0	0	0	0
支払手数料	4,000	4,000	4,000	4,675	▲ 675
雑費	150,000	150,000	150,000	0	150,000

地域社会振興部	1,188,000	0	1,188,000	789,969	398,031
福利厚生費	74,800		74,800	87,974	▲ 13,174
会議費	0		0	0	0
旅費交通費	166,500		166,500	88,750	77,750
消耗品費	17,700		17,700	9,197	8,503
印刷製本費	109,200		109,200	0	109,200
賃借料	97,700		97,700	40,500	57,200
渉外費	26,000		26,000	0	26,000
通信運搬費	432,800		432,800	340,078	92,722
委託費	0		0	0	0
諸謝金	252,000		252,000	190,825	61,175
負担金	1,400		1,400	0	1,400
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	8,900		8,900	32,645	▲ 23,745
雑費	1,000		1,000	0	1,000
制度対策部	527,220	0	527,220	255,315	271,905
福利厚生費	34,000		34,000	0	34,000
会議費	0		0	2,980	▲ 2,980
旅費交通費	91,000		91,000	32,150	58,850
消耗品費	4,000		4,000	2,989	1,011
印刷製本費	6,000		6,000	10	5,990
賃借料	115,000		115,000	6,207	108,793
渉外費	20,000		20,000	8,899	11,101
通信運搬費	102,800		102,800	67,800	35,000
委託費	0		0	0	0
諸謝金	140,000		140,000	130,320	9,680
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	7,000		7,000	0	7,000
備品費	100		100	0	100
支払手数料	7,320		7,320	3,960	3,360
雑費	0		0	0	0
エリア連携部	151,000	0	151,000	29,009	121,991
福利厚生費	19,000		19,000	0	19,000
会議費	0		0	11,000	▲ 11,000
旅費交通費	32,000		32,000	0	32,000
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	13,000		13,000	0	13,000
賃借料	10,000		10,000	0	10,000
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	73,000		73,000	17,899	55,101
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	2,000		2,000	110	1,890
雑費	2,000		2,000	0	2,000
選挙管理委員会	80,000	0	80,000	4,125	75,875
福利厚生費	0		0	0	0
会議費	0		0	0	0
旅費交通費	20,000		20,000	1,030	18,970
消耗品費	0		0	0	0
印刷製本費	40,000		40,000	0	40,000
賃借料	0		0	0	0
渉外費	0		0	0	0
通信運搬費	20,000		20,000	2,600	17,400
委託費	0		0	0	0
諸謝金	0		0	0	0
負担金	0		0	0	0
消耗備品費	0		0	0	0
備品費	0		0	0	0
支払手数料	0		0	495	▲ 495
雑費	0		0	0	0

助成金	500,000	0	500,000	450,000	50,000
研究助成	400,000	0	400,000	400,000	0
地域支援活動助成金	100,000	0	100,000	50,000	50,000
神奈川県作業療法学 会実行委員会	2,535,008	0	2,535,008	2,256,277	278,731
開催年会場費 50 万円	1,600,000	0	1,600,000	1,321,269	278,731
運営費 110 万円					
前年度繰越金	935,008		935,008	935,008	0
臨床作業療法大会実 行委員会	900,000	0	900,000	332,058	567,942
準備年、会場費 40 万円	900,000	0	900,000	332,058	567,942
運営費 50 万円					
他団体会費	72,000	0	72,000	68,970	3,030
神奈川県地域リハビリテーシ ョン三団体協議会	72,000	0	72,000	68,970	3,030
活動費合計	25,112,248	0	25,112,248	19,605,509	5,506,739
積立金	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	0
事務局積立・設備投資・システ ム更新など	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0
県学会・臨床大会積立・会場 の契約前金・50周年積立な ど	500,000	0	500,000	500,000	0
予備費(補正予算分)	1,000,000	0	1,000,000	0	1,000,000
次期繰越金	0	0	0	0	0
支出合計	27,612,248	0	27,612,248	21,105,509	6,506,739

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 期末監査報告

令和8年5月10日

監事 錠内 広之



監事 野々垣 睦美



私たちは、令和8年4月4日に一般社団法人神奈川県作業療法士会の監査を行いました。監査にあたっては、各部（課・班）の活動報告、決算書、出納帳簿、領収書、通帳を確認しました。

監査の結果、本会の活動並びに収支がおおむね健全に遂行されていると認めます。しかし、下記の点に関して改善を検討することをお願いします。

記

- ・謝金の源泉徴収分は入金・出金の手順を守り、いずれも出納帳へ記入してください。
- ・領収書番号は毎月①からの番号とし、出納帳簿は領収書番号順に入力してください。
- ・勘定科目を確認してから入力してください。会議費と福利厚生費、通信運搬費についての混乱がみられます。また、振込手数料と支払額は別の科目になります。
- ・書類は提出期限を厳守してください。

以上

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】		【流動負債】	
現金・預金	30,462,981	預り金	69,073
立替金	469,743		
		負債合計	69,073
【固定資産】			
事務局積立金	6,311,864		
県学会等積立金	5,502,871		
		純資産の部	
		【株主資本】	
		資本金	1,635,000
		(利益剰余金)	
		繰越利益剰余金	41,043,386
		純資産合計	42,678,386
資産合計	42,747,459	負債・純資産合計	42,747,459

損益計算書

自 令和7年4月1日

至 令和8年3月31日

(単位 円)

科目	金額	
【売上高】		
会費収入	16,505,466	
研修会会費収入	5,849,300	
雑収入	177,941	
広告掲載料	6,000	
補助金	150,000	22,688,707
	売上総利益金額	22,688,707
【販売費および一般管理費】		19,605,509
	営業利益金額	3,083,198
【営業外収		
益】		
受取利息		75,479
	経常利益金額	3,158,677
	税引前当期純利益金額	3,158,677
	当期純利益金額	3,158,677

一般社団法人 神奈川県作業療法士会

財 産 目 録

令和8年3月31日現在(決算)

		勘 定 科 目	繰 越 残 高
資 産 の 部	流 動 資 産	小 口 現 金	
		(現 金)	0
		普 通 預 金	26,827,981
		ゆうちょ銀行	0
		横浜銀行 一般社団法人用	21,079,154
		横浜銀行 事務局	2,079,747
		横浜銀行 教育部	225,879
		横浜銀行 教育部 MTDLP 推進育成課	22,775
		横浜銀行 学術部 研修班・研究助成班	282,287
		横浜銀行 学術部 学会支援課	89,466
		横浜銀行 学術部 学術誌	125,255
		横浜銀行 広報部 広報班	36,692
		横浜銀行 広報部 ニュース班	621,092
		横浜銀行 広報部 対外広報班	48,055
		横浜銀行 広報部 ウェブサイト班	130,080
		横浜銀行 福利部	165,773
		横浜銀行 地域社会振興部	399,260
		横浜銀行 地域社会振興部 生涯教育	0
		横浜銀行 制度対策部 社会保障制度班	83,095
		横浜銀行 制度対策部 福祉用具班	1,096
		横浜銀行 制度対策部 災害対策事業班	127,914
		横浜銀行 制度対策部 自動車運転班	64,280
		横浜銀行 選挙管理委員会	76,007
		横浜銀行 エリア連携部	76,065
	横浜銀行 研修会費口	0	
	横浜銀行 神奈川県作業療法学会	599,251	
	横浜銀行 神奈川県臨床作業療法大会	494,758	
	横浜銀行 神奈川県作業療法士会	0	
	横浜銀行 神奈川県作業療法士会	0	
	横浜銀行 神奈川県作業療法士会	0	
	横浜銀行 神奈川県作業療法士会	0	
	横浜銀行 神奈川県作業療法士会	0	
	(流 動 性 預 金)	26,827,981	
定期預金	1,635,000		
ゆうちょ銀行	1,635,000		
定額貯金	2,000,000		
ゆうちょ銀行	2,000,000		
(固 定 制 預 金)	3,635,000		
(預 金)	30,462,981		
[現 金 預 金]	30,462,981		
立替金	469,743		
【 流 動 資 産 】	30,932,724		
固 定 資 産	普通預金		
	横浜銀行 事務局積立	6,311,864	
	横浜銀行 県学会等積立金(一般社団法人用)	5,502,871	
	(積 立 金)	11,814,735	
【 固 定 資 産 】	11,814,735		
【 資 産 の 部 】	42,747,459		

第3号議案 規程の修正について

1. 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 会員規程の修正について

【旧姓の使用を可能とするための修正】

現行	改定案
	<p>本規程に第5条を追記する。 これに伴い、以降の条文番号を繰り下げる等、所要の整理を行う。 <u>(登録氏名)</u> <u>第5条 本会における会員の氏名は、入会又は変更の申請に基づき登録された氏名とする。</u> <u>2 前項の登録氏名には、婚姻等により変更前の姓（以下「旧姓」という。）を含むものとする。</u> <u>3 本会は、登録された氏名の使用の理由その他の事情に關与しない。</u> <u>4 本会と関係団体その他外部機関との間で行われる資格管理、生涯教育ポイント申請その他各種手続きにおいて、登録氏名の不一致により照合又は処理に支障が生じた場合は、会員の責任において必要な確認又は修正を行うものとする。</u></p>

2. 一般社団法人 神奈川県作業療法士会 選挙管理規程の修正について

(旧姓の使用を可能とするための修正、立候補方法を電磁的記録により可能とするための修正、各号の番号の不整合の修正)

現行	改定案
	<p>本規程に第3条を追記する。 これに伴い、以降の条文番号を繰り下げる等、所要の整理を行う。 <u>(氏名の取扱い)</u> <u>第3条 役員及び代議員の選挙においては、本人からの申出があった場合、通称（旧姓）を使用することができる。</u> <u>2 前項の場合において、選挙管理上の本人確認は、本会が保有する会員情報に基づき行うものとし、必要に応じて、戸籍上の氏名又は協会に登録されている氏名との照合を行うことができる。</u> <u>3 本会と関係団体その他外部機関との間で行われる資格管理、生涯教育ポイント申請その他各種手続きにおいて、本会の会員名簿に登録された氏名と外部機関の登録氏名との不一致により照合又は処理に支障が生じた場合は、会員の責任において必要な確認又は修正を行うものとする。</u></p>

(立候補の届出)

第 13 条 役員に立候補する者は、役員選挙公示の日から 45 日以内の締切日までに選挙管理委員長へ届け出なければならない。その場合、締切日の当日消印を有効とする。

2 立候補する者は、別に定める役員選挙立候補届を本会ホームページより入手し、記入したものを選挙管理委員長へ届け出る。

(届出の受付)

第 14 条 役員選挙立候補届の送付先は事務局とする。

2 受付順は、届出が到着し、かつ受理した順とする。同時刻の場合は氏名の五十音順とする。

3 選挙管理委員長の指示のもと、届出は原本を事務局で保管する。

(届出の受理)

第 15 条 届出は、事務局に到着した順を受付順とする。同時刻に到着した場合は、氏名の五十音順とする。受付した役員候補者選挙立候補届は、原本を事務局で保管する。

2 選挙管理委員長の指示のもと、事務局は届出受理証の発行事務の補助を行う。

(選挙運動における禁止事項)

第 17 条 立候補者及び正会員の選挙活動において、次に挙げる行為を禁止とする。

- (1) 飲食物を含む金品の提供を行うこと。
- (2) 封筒による文書図画の配付及び郵送。

下記のように修正を提案する。

(立候補の届出)

第 13 条 役員に立候補する者は、役員選挙公示の日から 45 日以内の締切日までに、選挙管理委員長へ届け出なければならない。その場合、締切日の当日消印を有効とする。

2 立候補する者は、別に定める役員選挙立候補届を本会ホームページより入手し、記入したものを選挙管理委員長へ届け出る。

に必要事項を入力の上、本会が指定するインターネット上の申請フォームその他の電磁的方法により、選挙管理委員長へ届け出るものとする。

3 前項の届出は、当該電磁的方法により本会に到達した時点をもって受理したものと
する。

(届出の受付)

第 14 条 役員選挙立候補届の送付先は事務局とする。

2 受付順は、届出が到着し、かつ受理した順とする。同時刻の場合は氏名の五十音順とする。

3 選挙管理委員長の指示のもと、届出は原本を事務局で保管する。

役員選挙立候補の届出は、本会が指定するインターネット上の申請フォームその他の電磁的方法により行うものとし、その受付事務は事務局が行う。

2 受付順は、当該電磁的方法により本会のシステムに記録された順とする。同一時刻に記録された場合は、氏名の五十音順とする。

3 選挙管理委員長の指示のもと、事務局は、受付した立候補に係る電磁的記録を適切に保管するものとする。

(届出の受理)

第 15 条 届出は、事務局に到着した順を受付順とする。同時刻に到着した場合は、氏名の五十音順とする。受付した役員候補者選挙立候補届は、原本を事務局で保管する。

2 選挙管理委員長の指示のもと、事務局は届出受理証の発行事務の補助を行う。

選挙管理委員長は、前条の規定により受付された届出について、記載内容を確認のうえ、適否を判断し、受理又は不受理を決定する。

2 事務局は、選挙管理委員長の指示のもと、受理の可否について立候補者へ通知する。

本規程において、各号の番号に不整合が生

<p>(4) ファクシミリによる文書図画の送信。 (5) 正会員の自宅及び職場等への戸別訪問。 (6) 選挙公報のすべて及び文書図画における虚偽又</p> <p>2 前項の規定に反する場合、または倫理的に問題がある場合には、選挙管理委員長の名のもとで注意、是正勧告、選挙権及び被選挙権の取り消し、当選の取り消しを行うことができる。</p> <p>(1) 選挙権及び被選挙権の取り消しとするのは、立候補者がこの規定に反する行為を行ったと選挙管理委員会が認めた場合とする。取り消しの期間は1年間とする。</p> <p>(2) 当選の取り消しとするのは、当選人がこの規定に反する行為を行ったと選挙管理委員会が認めた場合とする。当選の取り消しがあった場合には、当該当選人の人数に応じ得票数の多い順で繰り上げ当選人とする。</p> <p>(3) 規定に反する及び倫理的な問題に該当すると判断され、選挙管理委員会の調査対象となる者については、弁明の機会が保障されるものとする。</p> <p>(5) 選挙管理委員長は、処罰の結果を公表するものとする。</p>	<p>じていたため、これを是正し、番号の整理を行う。</p> <p>(選挙運動における禁止事項) 第17条 立候補者及び正会員の選挙活動において、次に挙げる行為を禁止とする。</p> <p>(1) 飲食物を含む金品の提供を行うこと。 (2) 封筒による文書図画の配付及び郵送。 (4) (3) ファクシミリによる文書図画の送信。 (5) (4) 正会員の自宅及び職場等への戸別訪問。 (6) (5) 選挙公報のすべて及び文書図画における虚偽又は不正な内容の掲示。</p> <p>2 前項の規定に反する場合、または倫理的に問題がある場合には、選挙管理委員長の名のもとで注意、是正勧告、選挙権及び被選挙権の取り消し、当選の取り消しを行うことができる。</p> <p>(1) 選挙権及び被選挙権の取り消しとするのは、立候補者がこの規定に反する行為を行ったと選挙管理委員会が認めた場合とする。取り消しの期間は1年間とする。</p> <p>(2) 当選の取り消しとするのは、当選人がこの規定に反する行為を行ったと選挙管理委員会が認めた場合とする。当選の取り消しがあった場合には、当該当選人の人数に応じ得票数の多い順で繰り上げ当選人とする。</p> <p>(3) 規定に反する及び倫理的な問題に該当すると判断され、選挙管理委員会の調査対象となる者については、弁明の機会が保障されるものとする。</p> <p>(5) (4) 選挙管理委員長は、処罰の結果を公表するものとする。</p>
---	--

第4号議案 代議員選挙結果について

令和8・9年度代議員選挙の立候補者募集（募集期間：2025年11月29日～2025年12月28日消印有効）に対し、Aブロック28名、Bブロック16名の立候補がありました。また、推薦候補者募集（募集期間：2026年1月10日～2026年3月17日）に対し、Aブロック17名、Bブロック15名の推薦候補がありました。なお、Aブロック、Bブロック共に立候補者数と推薦候補者数が定数と同数となったため、無投票当選となります。

*所属は 2026(令和8年)2月17日現在

当選代議員については、2026・2027年度（令和8・9年度）社員一覧 参照

〈報告事項〉

第 1 号議案 2026 年度（令和 8 年度）事業計画

部署名：事務局		担当：(部長) 望月 強併 (副部長) 玖島 弘規
事業名	事業概要	
理事会・三役会運営	県士会運営方針の検討のための理事会運営に対する業務 (年間三役会 12 回、理事会 9 回)	
総会の運営	5 月対面開催	
関係団体等に対する業務	渉外活動 各団体や養成校との連携事業の支援(公文書作成、関連団体との連絡調整など)	
県士会資産と活動を維持するための業務	事務所の管理、環境整備、雇用継続、活動経費(事務所代、専従パート給与、セコム代、光熱費、火災保険、消耗備品、修繕費、インターネット・オンライン会議システム関係費用等)の管理	
組織を円滑に推進するための調整業務	県士会各部・委員会・WG との連携・協力 OT 協会との連携会議 WG 事業の支援	
法人管理の体制整備と強靱化	健全な士会運営に向けた専門家の導入	
会員情報の管理・整理	会員の入退会や口座引き落としなど会員情報に関する管理 各手続き等の郵送による書類等のやり取り 会員管理システムの検討	
会員班		
事業名	事業概要	
会員事業取りまとめ会議	年 4 回 部員 4 名で実施方針 各部署での会員向けの事業の統括	
正会員限定研修会	代表部署：学術部 正会員限定の研修会の開催。会員管理システムが導入されれば会員に限定公開可能。会員還元(特典)の一つとして開催を検討。	
学生会員向け研修会	代表部署：学術部 サポート部署：教育部・制度対策部 学生会員向けの研修会。学生会員の確保が優先されるが、企画の検討を進めたい。学生参加可能な研修会もあるため単独の研修会とするかは検討。	

認定 OT 実践事例報告書サポート	代表部署：教育部 サポート部署：学術部 認定 OT 制度における「実践事例報告書」において認定 OT の指導が必要。県内 OT の認定 OT 取得に寄与すべく、紹介窓口を設置。会員内の認定 OT 活用を検討。
卒業者向け県士会入会案内(養成校訪問)	代表部署：広報部 サポート部署：福利部 最終学年を対象に県士会の紹介及び入会案内を行う。可能であれば訪問。
在校生向け学生会員入会案内(チラシ配布)	代表部署：会員 WG サポート部署：広報部・福利部 在校生を対象に県士会の紹介及び入会案内を行う。実施方法については訪問又はチラシの郵送。
臨床大会でのブース出展	代表部署：福利部 共同部署：学会支援課 臨床大会において県士会ブースを出展。県士会の活動紹介や入会案内、SIG の紹介、会員の交流を促す。
新入会員オリエンテーション	代表部署：福利部 共同部署：学術部 新入会員向け研修会の開催及び会員交流機会の提供。県士会活動の紹介。
代議員交流会	代表部署：事務局 共同部署：福利部・制度対策部 代議員同士、代議員と理事などの交流会。県士会の課題や展望について代議員と意見交換及び交流を図る。
部署名：財務部	
担当：(部長) 山勢健太郎	
事業名	事業概要
法人の財務管理	神奈川県作業療士会における財務管理と調整 財務管理方法の検討 会計監査の実施
資金調達・助成金管理機能の整備	2027 年度実施事業の助成金・補助金の継続した検索。 全体方針、当士会事業と整合する案件を理事会へ提案。助成金・補助金の申請。 採択後の会計処理・管理体制を標準化。
部署名：規約部	
担当：(部長) 神田 崇央	
事業名	事業概要
定款および規程集の管理	現行の定款、規程の見直しを図りつつ、活動に合わせて定款、規程を修正する。
マニュアルの整備	各部・委員会で管理しているマニュアルの管理を行うことを通して、定款・規程との差を確認していく。また、引継ぎ業務が円滑に実施できるようにする。

部署名：福利部		担当：(部長) 澤口 勇
事業名	事業概要	
新入会員 オリエンテーション	【毎月1回 ZOOM】新入会員への県士会活動の説明(学会等開催月まで)	
県士会ブース出展	会員交流の場や県士会活動のアピールの場を提供	
倫理相談窓口	JAOTより常設依頼/JAOT倫理委員会と連携して、主に相談体制の整備	
倫理に関する研修会	倫理に関する研修会の開催	
表彰関連(各種表彰、 学会感謝状等)	各種表彰に関する情報収集と対象者の選定	
子育て・介護時対応 などの座談会	会員交流を通して、ライブイベント下においても、引き続き県士会会員を継続できるよう職場や生活環境整備の下支え/会員定着	
求人情報の周知	広報部(ウェブサイト)と協力し、県内施設の求人をHP上に掲載対応	
学生会員向けに座談会	学生会員同志の交流促進、県士会に対する要望や意見等を含み取り、将来に渡し、会員としての定着を図る	
部署名：学術部		担当：(部長) 佐々木 秀一 (副部長) 青木 啓一郎
学術推進課 スキルアップ研修班		
事業名	事業概要	
スキルアップ研修事業	スキルアップ研修会は全10回を予定する(身障分野7回、精神分野3回)基本的にはzoomを使用したオンラインでの形態を予定しているが、対面での研修会も2回程予定する。対面での内容は治療手技や実技など、対面でしか行えない内容とする。身障分野には研究やマネジメントなどの内容を含む。申し込みは全研修会でオンライン決済システム「Peatix」を使用する。研修会の内容によっては、OT養成校の学生の参加も可能にする。Zoom形式の研修会においては、オンデマンド配信を予定している。	
学術推進課 学術誌刊行班		
事業名	事業概要	
学会誌刊行事業	県士会発展に寄与する研究・実践の知見を会員間で共有するとともに、県士会の研究・実践活動を広報する。 『神奈川作業療法研究 The Journal of Kanagawa Occupational Therapy Research 2026 Vol.16』を電子ジャーナル「J-stage」で発刊。オンライン査読システムを使用。	

学術推進課 研究助成班	
事業名	事業概要
研究助成	会員間での知見の共有および活動の広報を目的として、研究助成事業において2課題を推薦する予定。その中で、今年度は研究期間の延長、論文投稿先の見直し、研究経費項目の追加等を含む研究助成事業の概要の見直しを検討する。また昨年に引き続き、「研究のはじめ方」に関する研修会動画をオンデマンドで県士会員へ公開する予定。
学術推進課 研究倫理班	
事業名	事業概要
研究倫理審査委員会設置事業	神奈川県作業療法士会の正会員が行う、人を対象として行われる作業療法学研究が「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の趣旨に準拠しているか否かを倫理的および科学的観点から公正に審査することを目的として、研究倫理審査委員会を設置することを目的とする。
学会支援課	
事業名	事業概要
県学会および臨床大会の運営マニュアルの更新と後援における内規の整備事業	<ul style="list-style-type: none"> ・県学会および臨床大会のマニュアルは2023年度に完成したが、適宜内容の修正が必要となる。 ・県学会・臨床大会の開催に伴う後援に関する内規の整備を行う。 ・第8回臨床大会大会長の選出を行う。
学会支援課 県学会班	
事業名	事業概要
第21回神奈川県作業療法学会の実行委員会の運営サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・2027年度開催の県学会の運営に関して、学会長及び実行委員会の運営をサポートする。 ・学会実行委員への引き継ぎおよび情報提供を行う。
学会支援課 臨床大会班	
事業名	事業概要
第7回神奈川県臨床作業療法大会の実行委員会の運営サポート	<ul style="list-style-type: none"> ・2026年度開催の臨床大会の運営に関して、大会長及び実行委員会の運営をサポートする。 ・学会実行委員への引き継ぎおよび情報提供を行う（会議出席・メール等）。
部署名：教育部	
担当：(部長) 神保 洋平 (副部長) 村仲 隼一郎	
現職者研修課	
事業名	事業概要
生涯学修制度関連研修開催	<ul style="list-style-type: none"> 現職者共通研修：全10テーマ 現職者選択研修：2領域

生涯学修制度の広報、啓蒙、推進	県士会ウェブサイトや県士会ニュースを通じた広報 新卒者向け生涯学修制度説明会の実施 県士会ウェブサイトやメールでの質問への迅速な対応
日本作業療法士協会生涯教育制度部局との連携	日本作業療法士協会生涯教育制度部局のと連携を通し、理事会及び士会員への情報提供を行う
実習指導育成課	
事業名	事業概要
臨床実習指導者講習会の開催	オンライン開催で 80 名定員 1 回実施 対面形式で 80 名定員 1 回実施
実践者向け臨床実習指導者研修会の開催	アドバンスコース研修会 50 名定員×1 回実施
研修ポイント管理課	
事業名	事業概要
生涯教育制度システム利用による研修会バーコード受付及び関連手続き ウェブ開催の場合における受講者の受講履歴	障害教育システムに関わる受講履歴の管理、及びポイント申請を実施
SIG 団体の登録管理	SIG 団体の登録と管理、OT 協会への申請
MTDLP 推進育成課	
事業名	事業概要
MTDLP(生活行為向上マネジメント)基礎研修	年間 2 回研修会の実施 全て対面での予定
MTDLP(生活行為向上マネジメント)事例検討会	年間 4 回実施 全てオンライン (ZOOM)
MTDLP 実践者・指導者増加支援事業	士会の事例検討会発表者、協会の口頭試問発表者に対する MTDLP を用いた実践の指導、発表資料の添削、プレゼンテーションの模擬練習、オンラインおよび要請があった施設に赴き、MTDLP 実践者・指導者の要請・指導を行う事業である
MTDLP つながるケア推進事業－養成校－	MTDLP 推進育成課と MTDLP 推進強化校と協働し、学生向け勉強会、実習前指導者研修（卒業生）を行い推進育成するものである。
臨床大会 MTDLP 推進ワークショップ事業	基礎研修修了後の会員を実践者へ引き上げることを目的とする、神奈川県臨床作業療法学会でのワークショップを展開するものである。

部署名：制度対策部		担当：(部長) 佐藤 範明 (副部長) 佐藤 隼
福祉用具班		
事業名	事業概要	
福祉用具相談支援システム/生活行為工夫情報	会員向けの福祉用具に関する情報提供と相談支援。また、地域に向けた作業療法士による生活行為の工夫情報の提供。	
福祉用具に関する他団体への協力	国際福祉機器展等で福祉用具に関する相談支援。または福祉用具を介した県士会他部署や他機関、他団体との協業	
社会保障制度班		
事業名	事業概要	
作業療法に関わる社会保障制度の情報収集と発信	協会や他県士会と連携し、情報収集とブログやニュースなどを用いた情報発信を行う	
自動車運転班		
事業名	事業概要	
社会保障制度情報交換会	年1回座談会を実施。他部署との連携などを検討し、効率的な運用を進めていく。	
自動車運転に関する情報発信	協会や他県士会と連携し、情報収集とブログやニュースなどを用いた情報発信を行う	
自動車運転に関する研修会	自動車運転支援に対する県内施設の取り組みなどを研修会として実施。会員同士のつながりの機会としても用いる。 年1回を想定(オンライン1回) ※今年度、初めての対面開催を実施する。 実績によっては、次年度も対面開催を検討	
他団体(免許センターなど)との連携体制構築	他団体(県警免許センター・指定教習所協会など)との運転支援体制強化を図り、研修会や見学会を実施(年2回想定)	
災害対策事業班		
事業名	事業概要	
災害対策に関する情報収集と発信	協会や他県士会、他団体と連携し、情報収集とブログやニュースなどを用いた情報発信を行う	
安否確認システムの運用	会員の安否と勤務先の被災状況を確認するシステムの運用とさらなる充実を目指す。	
行政や他団体との連携及び災害対策事業への参画	県行政、他団体と連携し、専門職としての災害対策事業に参画してく(研修会や連絡回・訓練に参加)。	
災害時のマニュアル作成	他団体や他県士会のマニュアルに関する情報を得る。	

部署名：広報部		担当：(部長) 野本 義則 (副部長) 佐藤 範明
対外広報課		
事業名	事業概要	
県民に対する作業療法啓発活動	イベント等に参加し県民や学生向けに作業療法を知ってもらう	
養成校への県士会入会案内	県内養成校（近隣県への養成校も含む）への県士会入会案内の実施	
賛助会員への入会案内と継続のための取り組み	賛助会員特典の検討や入会案内の促進対応	
対外広報課会議	対外広報課会議	
情報発信課		
事業名	事業概要	
WEB サイトリニューアル	業者委託へ 費用および支出元は検討中	
情報発信課 ウェブサイト班		
事業名	事業概要	
県士会サイトの企画・管理・運営	https://kana-ot.jp の企画・管理・運営	
県士会電子メールの受付	kaot@kana-ot.jp の受付	
県士会関連のメールアカウントおよびメーリングリストの管理	県士会関連のメールアカウントおよびメーリングリストの管理	
新着メールマガジンの発信	「Kana からの手紙」の発信	
ウェブサイト管理委員会公式 SNS の管理・運営	公式 X(旧 Twitter)および Facebook、Youtube、Instagram	
県士会サイトの広報	県士会ニュースへのウェブサイト通信の掲載	
県学会および臨床大会の IT 支援	県士会サイトへの県学会および臨床大会の情報の掲載。IT 関連の支援。	
メディア媒介を使用した県民に向けた作業療法の普及啓発	県士会サイト「絵本でみる作業療法」の管理・運営	
情報発信課 ニュース班		
事業名	事業概要	
県士会ニュースの発行・発送	県士会活動伝達ツールのひとつであるニュースの発行を行う 年 3 回郵送、年 3 回 WEB のみとし 2700 名を想定して行う	
全体会議+予算会議	広報部としての方向性の確認・意見交換	

部署名：地域社会振興部		担当：(部長) 佐藤 隼 (副部長) 石川 恵美子
地域事業課 人材育成班		
地域リハビリテーション 人材育成研修会	総合事業に資する人材育成研修を年2回実施する。	
地域リハビリテーション ミーティング	地域共生社会に資する人材ネットワーク形成のため年2回実施する。	
地域事業課 横浜支援班		
横浜市地域リハビリテーション活動支援事業への派遣	住民や地域支援に関わる専門職への支援を実施。地域介護予防領域での士会員の活躍の場を拡大する。	
横浜市地域リハビリテーション活動支援事業の啓発	会員に向けての情報発信と事業参画を支援するための見学や技術研修を実施する。	
横浜市保健と介護予防の一体化事業	「保健と介護予防の一体的取り組み」に関して行政と他団体、士会関連部署と連携強化のための協議、情報収集を行い、円滑な運営を目指していく。	
地域事業課 広域事業班		
地域担当市町村配置事業	地区戦会議（窓口担当者）を年3回実施し、市町村事業の把握や協力をしていく。	
地域関連団体協力事業	県や他団体からの要請に対して協力をしていく。	
地域リハビリテーション普及・啓発事業	各団体等による地域関連の行事、研修会に参加し、取材などして記事を掲載する。行政も含めた普及啓発のための会議を実施する。	
地域支援事業の活動調査・把握事業	地域ケア会議や介護予防事業に参加している方、審査会などに参加している方を把握していく。また、地域連絡会の活動状況として各連絡会に参加していく。	
地域リハビリテーション人材バンク事業	地域人材の派遣に必要な資質や条件などのルール化について関連部署と協議していく。また、現在地域に参画している人材の情報収集や開拓を図りながら人材バンク創設に向けての会議を実施する。	
地域リハ課 こども班		
こども関連研修会	特別支援教育、5歳児健診など、地域関連のこども領域に関する勉強会を年1回実施する。	
こどもミーティング	オープン、クローズのミーティングを年3回実施する。地域共生社会に向けてネットワーク作りも併用して行っていく。	
地域事業の活動調査・啓発	各団体等による地域関連の行事、研修会に参加し、行政も含めた普及啓発のための会議を実施する。	

地域リハ課 精神保健福祉班	
精神保健福祉セミナー	PSW 協会と合同で年 1 回実施する。
地域事業の活動調査・啓発	各団体等による地域関連の行事、研修会に参加し、行政も含めた普及啓発のための会議を実施する。
精神領域 OT ミーティング	精神領域で働く OT 同士の課題共有や情報交換などの意見交換をし合う機会としてミーティングを実施する。
地域リハ課 認知症対策班	
認知症 OT 研修会	認知症に関する知識や社会資源を深めるための研修会を年 2 回実施する。
当事者会・家族会への活動調査、連携事業	県内で行われる認知症イベントや本人・家族を主体とする団体活動に参画する。
地域リハ課 難病リハ班	
難病リハビリテーション講習会	難病疾患に関する知識、技術、IT 関連の情報収集をするための講習会を年 1 回実施する。
地域リハ課 スポーツ支援班	
障がい者スポーツ、e スポーツ活動事業	スポーツを通じた地域住民の交流や社会参加を促進していくためスポーツ支援や普及展開を図る。
地域リハ課 訪問-通所班	
地域リハビリテーション三団体協議会窓口事業	神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会の役員、局員を選定し、協議会と情報交換をしていく。
訪問・通所 OT 実態把握事業	作業療法士が所在している訪問リハビリ事業所や通所リハビリ事業所の実態を把握していく。
部署名：エリア連携部	担当：(部長) 佐伯 まどか (副部長) 野本 義則
事業名	事業概要
エリア連携推進会議	各エリア担当が介して、情報共有や今後の進め方について報告、議論をする(年 2 回オンラインで実施)。
エリア運営会議	各エリアの運営者がエリアごとに集まり、議論をする(年 2 回)
OT エリアミーティング	県内 8 エリアで顔がみえる関係づくりの場を開催(各エリア 1 回実施)
エリア会議活動支援	各エリアにおける活動を検討するための会議開催、役所などへの訪問などエリア担当理事、エリア長の企保運的な活動。
地域支援活動助成事業	会員同士による地域活動を推進するための助成金。2025 年度は最大 3 団体を対象とする。

第2号議案 2026年度（令和8年度）予算について

一般社団法人 神奈川県作業療法士会 2026年度予算

収 入 の 部					
会費収入					16,590,000
正会員会費 (2025年9月末 2370名)		16,590,000	賛助会員会費 (会員 B:6社)		60,000
研修会費収入					4,369,500
学術部		916,500	地域社会振興部		178,000
教育部		3,245,000	制度対策部		30,000
助成金収入					150,000
生涯教育講座		150,000			
広告収入					50,000
雑収入					20,000
運営準備金取り崩し					4,672,390
臨床大会繰越金					569,700
収 入 合 計					27,321,590
支 出 の 部					
事務局 + 財務 + 規約					12,247,300
給与手当	4,500,000	賃借料	1,664,400	負担金	10,000
福利厚生費	64,000	光熱水費	240,000	消耗備品費	120,000
会議費	0	広告宣伝費	0	備品費	0
旅費交通費	616,000	渉外費	150,000	その他活動費	0
消耗品費	100,000	通信運搬費	1,343,000	雑費	1,500
印刷製本費	101,500	委託費	2,786,000	法人住民税	0
修繕費	0	諸謝金	0	租税公課	0
支払い手数料	550,900	保険料	0		
福利部					273,900
福利厚生費	10,000	支払い手数料	5,000	諸謝金	73,400
会議費	0	賃借料	0	負担金	0
旅費交通費	7,500	渉外費	52,000	消耗備品費	0
消耗品費	30,000	通信運搬費	96,000	備品費	0
印刷製本費	0	委託料	0	雑費	0

学術部				1,803,020	
福利厚生費	35,000	支払い手数料	25,000	諸謝金	633,520
会議費	0	賃借料	40,000	負担金	0
旅費交通費	57,000	渉外費	35,000	消耗備品費	10,000
消耗品費	70,000	通信運搬費	512,500	備品費	0
印刷製本費	5,000	委託料	380,000	雑費	0
教育部				2,449,950	
福利厚生費	27,000	支払い手数料	30,000	諸謝金	1,987,250
会議費	0	賃借料	70,000	負担金	0
旅費交通費	85,500	渉外費	6,000	消耗備品費	0
消耗品費	12,000	通信運搬費	180,200	備品費	0
印刷製本費	52,000	委託料	0	雑費	0
広報部				2,363,400	
福利厚生費	10,000	支払い手数料	4,000	諸謝金	0
会議費	0	賃借料	60,000	負担金	0
旅費交通費	50,000	渉外費	0	消耗備品費	120,000
消耗品費	1,030,000	通信運搬費	1,070,400	備品費	
印刷製本費	19,000	委託料	0	雑費	0
地域社会振興部				1,167,620	
福利厚生費	81,000	支払い手数料	26,000	諸謝金	250,000
会議費	0	賃借料	100,000	負担金	0
旅費交通費	126,400	渉外費	0	消耗備品費	0
消耗品費	31,000	通信運搬費	412,220	備品費	0
印刷製本費	111,000	委託料	30,000	雑費	0
制度対策部				178,500	
福利厚生費	8,000	支払い手数料	7,900	諸謝金	40,000
会議費	0	賃借料	20,000	負担金	0
旅費交通費	28,000	渉外費	5,000	消耗備品費	0
消耗品費	0	通信運搬費	67,600	備品費	0
印刷製本費	2,000	委託料	0	雑費	0
エリア連携部				218,000	
福利厚生費	32,000	支払い手数料	0	諸謝金	0
会議費	0	賃借料	0	負担金	0
旅費交通費	40,000	渉外費	0	消耗備品費	0
消耗品費	0	通信運搬費	96,000	備品費	0
印刷製本費	0	委託料	0	雑費	50,000

	選挙管理委員会	80,000
その他	助成金	400,000
	研究助成	400,000
	積立金	2,000,000
	事務局積み立て 設備投資、システム更新など	1,000,000
	会場の契約前金・50周年積立など	1,000,000
	神奈川県作業療法学会 実行委員会	1,600,000
	準備年度	1,600,000
	前年度繰越金	
	臨床作業療法大会 実行委員会	1,469,700
		(前年度繰越金込み)
	開催年度	900,000
	前年度繰越金	569,700
	他団体会費	70,200
	神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	72,000
予備費(補正予算分)	1,000,000	
支出合計	27,321,590	

資料

1. 2025年度 後援・協賛等一覧

2025年4月11日 ～12日	第37回日本ハンドセラピー学 会学術集会	第37回日本ハンドセラピー学 会学術集会	後援
5月24日	神奈川県保険医協会	第33回在宅医療・介護セミナ ー	後援
5月24日～25日	車いす SIG 講習会事務局	第52回車いす SIG 講習会	後援
8月24日	一般社団法人日本 COG-TR 学会	第5回日本 COG-TR 学会集会 学術集会 in 東京	後援
9月6日～7日	第11回日本栄養嚥下理学療法 学会学術大会事務局	第11回日本栄養嚥下理学療法 学会学術大会	後援
9月14日～15日	第33回整形外科リハビリテー ション学会学術集会準備委員 会	第33回整形外科リハビリテー ション学会学術集会	後援
10月15日	神奈川県病院協会	第44回神奈川県病院学会	協力 団体
10月19日	神奈川県保険医協会	第26回医療・健康フェスティ バル	後援
11月29日	神奈川県建築士会	第1回研修会「専門職連携 住 宅改修ワークショップ」	後援
2026年1月31日	県西スマイロネット	のって！さわって！あそん で！ 福祉体験ワールド 2026	後援
2月1日	神奈川県理学療法士会	第42回神奈川県理学療法士学 会	後援
2月14日	日本介護支援専門員協会	第23回神奈川県介護支援専門 員協会研修大会	後援
2月21日	神奈川県西地区リハビリテー ション協議会	小田原®フェス 2026	後援
2月28日 ～3月1日	日本リハビリテーション連携 科学学会第27回大会	日本リハビリテーション連携 科学学会第27回大会	後援

2. 2025年度 賛助会員一覧

株式会社 柴橋商会	学校法人昭和医科大学昭和医科大学保健医療学部
「進」リハの集い	有限会社足柄リハビリテーションサービス
イワツキ株式会社 相模原営業所	グランメイト(株)神奈川営業所
上沼 早慧 氏	小崎 瑞穂 氏
高見澤 広太 氏	田坂 麻紀子 氏
松本 美並 氏	

3. 2025年度 名誉会員 一覧

田中 節子 氏

4. 2025年度他組織・団体等の県士会代表委員名簿

団体名	役職	代表
神奈川県病院協会学術委員会	事業委員	神保会長
神奈川県エイズ対策推進委員会	委員	神保会長
神奈川県病院医療関係団体連絡協議会	委員	神保会長
神奈川県在宅医療推進協議会リハビリテーション部会	委員	田中副会長
神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会	副会長 委員 委員	遠藤理事 佐藤隼理事 金子康氏
神奈川県介護予防事業市町村支援委員会 専門部会	委員	遠藤理事

5. 一般社団法人 日本作業療法士協会 特別表彰者 一覧

平成 27 年度表彰	渡邊 慎一 氏 (横浜市総合リハビリテーションセンター)
平成 28 年度表彰	鶴見 隆彦 氏 (湘南医療大学)
平成 30 年度表彰	杉本 由美子 氏 (重度身体障害者と共に歩む会)

6.第9期（2025・2026年度）理事・監事名簿

	役職・担当部署	氏名	所属	勤務体制
代表理事	会長	神保 武則	北里大学病院	非常勤
理事	副会長	田中 ゆかり	藤沢市保健医療センター	非常勤
理事	副会長	奥原 孝幸	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部	非常勤
理事	副会長	遠藤 陵晃	横浜 YMCA 学院専門学校	非常勤
理事	事務局長	望月 強併	日本鋼管病院	非常勤
理事	事務局次長	玖島 弘規	相原病院	非常勤
理事	財務部	山勢 健太郎	横浜市金沢区役所	非常勤
理事	規約部	神田 崇央	湘南大磯病院	非常勤
理事	福利部	澤口 勇	訪問看護ステーション レンゲの花	非常勤
理事	学術部	佐々木 秀一	北里大学病院	非常勤
理事	学術部	青木 啓一郎	昭和医科大学保健医療学部	非常勤
理事	教育部	神保 洋平	湘南医療大学保健医療学部	非常勤
理事	教育部	村仲 隼一郎	茅ヶ崎リハビリテーション専門 学校	非常勤
理事	地域社会振興部 制度対策部	佐藤 隼	さがみリハビリテーション病院	非常勤
理事	地域社会振興部	石川 恵美子	青葉さわい病院	非常勤
理事	エリア連携部	佐伯 まどか	横浜鶴見リハビリテーション病 院	非常勤
理事	制度対策部 広報部	佐藤 範明	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部	非常勤
理事	広報部 エリア連携部	野本 義則	東京医療学院大学保健医療学部	非常勤
監事		錠内 広之	日本鋼管病院	非常勤
監事		野々垣 睦美	クラブハウスすてっぷなな	非常勤
顧問		渡邊 慎一	横浜市総合リハビリテーション センター	非常勤

7. 第9期(2025年度)各部・委員名簿

●部長・委員長 ○副部長

【会長】 神保 武則

【副会長】 遠藤 陵晃 奥原 孝幸 田中 ゆかり

【監事】 錠内 広之 野々垣 睦美

【顧問】 渡邊 慎一

【事務局】 ●望月 強併 ○玖島 弘規

・吉本 雅一 ・兵頭 夏海 ・神原 文香

【財務部】 ●山勢 健太郎

・吉本 雅一 ・清水 謙太

【規約部】 ●神田 崇央

・生出 太郎 ・中山 淳

【福利部】 ●澤口 勇

・古賀 誠 ・山口 悠里 ・田村 雅伸

【学術部】 ●佐々木 秀一 ○青木 啓一郎

・林 慎也 ・田中 秀和 ・井上 那築 ・山本 恵利香・栢沼 綾華

・益田 拓弥 ・高見澤 広太 ・茂木 茉莉奈・芹澤 健輔 ・斎藤 成美

・榎本 光彦 ・佐藤 光 ・榊 なつみ ・卓島 未来

・葛岡 哲 ・上沼 早慧 ・脇田 美穂 ・古谷 慶一郎・金箱 志織

・吉葉 咲穂 ・石川 哲也 ・佐々木 洋子・宮崎 道輝

・鈴木 久義 ・渡部 喬之 ・嘉部 匡朗 ・内堀 謙吾 ・岩井 佑樹

・中村 拓人 ・武田 大勢 ・伊藤 拓人 ・宇都宮 裕人・増田 雄亮

・黒崎 空 ・重田 優子 ・野村 真弓 ・長谷川 明嶺

・坂本 俊夫 ・佐々木 祥太郎・増山 英理子・澤口 勇 ・篠崎 雅江

・坂本 安令 ・早川 裕子 ・福留 大輔 ・田邊 浩文 ・窪田 聡

・鈴木 雄介 ・中西 理佐子 ・佐々木 洋子・廣瀬 卓哉 ・山川 ちひろ

・魚岸 実弦 ・宮内 貴之 ・午腸 昌利 ・佐野 邦典 ・駒場 一貴

・村仲 隼一郎・井上 那築 ・猿爪 優輝 ・稲田 雅也 ・宮崎 道輝

・大郷 和成 ・萩野 祥代 ・小柳 俊介 ・内山 博之 ・一木 愛子

・岩切 美帆子・鈴木 哲理 ・森下 容丞 ・戸田 成美

【教育部】 ●神保 洋平 ○村仲 隼一郎

・清水 拓人 ・渡邊 隼人 ・岩崎 竜弥 ・石井 有希 ・島田 浩輝

・細田 達也 ・大場 文 ・片山 龍一 ・石川 恵美子・椎名 郁

・高杉 雄太 ・大石 悠太 ・三瓶 一輝 ・佐藤 昌宏

・安井 茶帆 ・佐藤 智子 ・杉浦 隼太 ・金木 貴芳 ・椎野 紫苑

・鈴木 香苗 ・水野 友美 ・瀬口 結風 ・山本 力也 ・安井 思帆

・齋藤 七海 ・佐々木 露葉・山岡 洸 ・小林 佳弘 ・前澤 幸穂

・荒木 明日香 ・木村 亮太 ・鈴木 音弥 ・山田 千紗 ・渡邊 玲奈

・平野 翔 ・井上 由貴 ・加藤 千裕 ・鈴木 香苗 ・大江 珠祐

【制度対策部】●佐藤 範明 ○佐藤 隼

- ・沼田 一恵 ・木村 亮介 ・宮田 和典 ・加藤 結花里 ・中村 瑞紀
- ・鈴木 結葉 ・廣田 祐樹 ・西 則彦 ・佐野 邦典 ・渡辺 謙斗
- ・渡邊 隼人 ・山口 昌央 ・森 仁紀 ・山根 剛 ・奥村 容子
- ・村越 妙美 ・平野 航希

【地域社会振興部】●佐藤 隼 ○石川 恵美子

- ・渋谷 拓郎 ・戸塚 香代子 ・初鹿 真樹 ・坂内 大祐 ・佐藤 範明
- ・早川 大貴 ・重森 七美 ・宍戸 真帆 ・渡辺 圭祐 ・金子 康
- ・原島 淳 ・西浦 淳一郎 ・芳賀 吉朗 ・加藤 直樹 ・小松 瑛里
- ・庄司 薫 ・梶ヶ谷 聡 ・佐藤 佳央里 ・濱口 陽介 ・椎名 郁
- ・大河内 萌 ・木下 剛 ・池嶋 孝二 ・片岡 直人 ・山岡 洸
- ・吉田 倫子 ・西川 航平 ・鎌田 崇寛 ・佐野 晴香 ・高杉 雄太
- ・小河原 格也 ・山口 拓也 ・森山 康平 ・齋藤 信 ・田中 友彬
- ・清水 琳香 ・山本 寛太 ・吉本 雅一 ・村岡 和也 ・吉田 万祐子
- ・松永 優佳子

【広報部】●野本 義則 ○佐藤 範明

- ・作田 浩行 ・甲本 夏穂 ・福嶋 祐子 ・清水 拓人 ・都丸 碧
- ・松本 美並 ・山本 潤 ・出口 弦舞 ・山岡 洸 ・佐藤 愛
- ・山川 ちひろ ・碓屋 瑛理 ・清野 由香里 ・水野 友和 ・佐藤 隼
- ・花形 真 ・天野 沙織 ・羽毛田 佳代子 ・額谷 文太 ・竹村 祐樹
- ・有田 健吾 ・加藤 典子

【エリア連携部】●佐伯 まどか ○野本 義則

- ・大郷 和成 ・小泉 善久 ・藤崎 咲子 ・中井 琢哉 ・高橋 勇大
- ・和田 尚 ・中村 拓人

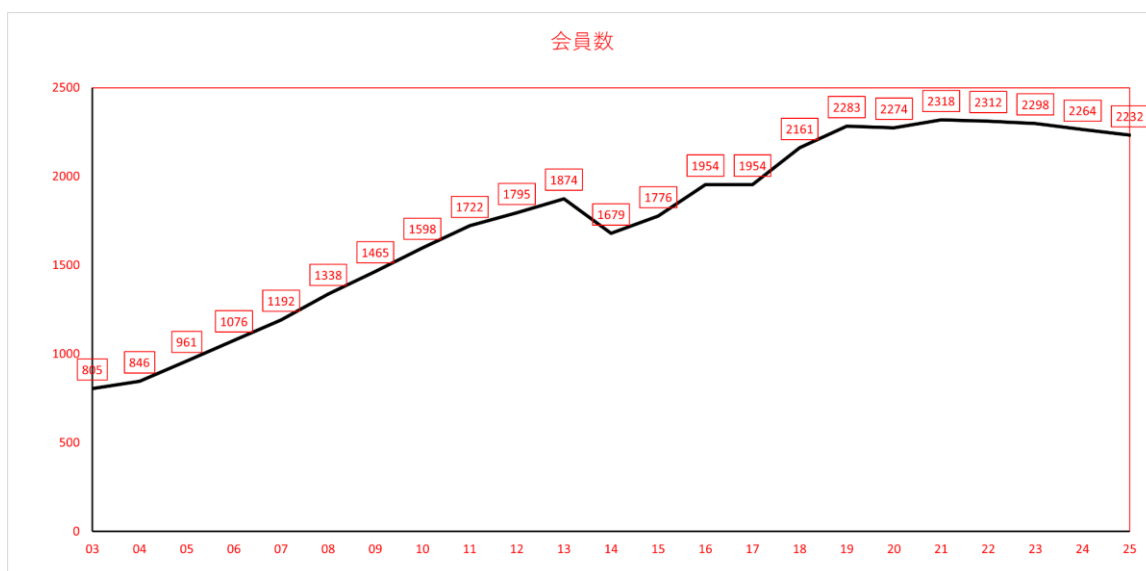
【選挙管理委員会】●廣瀬 智哉

- ・池田 公平 ・野中 臨太郎 ・小竹 克郁 ・瀧澤 亮

8.一般社団法人神奈川県作業療法士会 会員数結果(2025年3月31日付)

I 会員データ

2025年度現在会員数	2232名
内訳 施設会員(常勤)	2024名
自宅会員(非常勤・休業)	208名
(休会会員・・・2026.4.1～2027.3.31まで 10名)	



II 神奈川県内における認定作業療法士・専門作業療法士取得者数(2026.4.1現在)

認定作業療法士		合計 96名	
専門作業療法士		合計 12名	
内 訳		がん	2名
高次脳機能障害	2名	脳血管障害	5名
手の外科	1名	認知症	0名
特別支援教育	0名	精神科急性期	0名
福祉用具	1名	摂食嚥下	0名
訪問作業療法	1名	就労支援	0名